

案

京都市 子どもの生活状況等に関する調査 【結果報告書（速報）】

本調査については、平成32年度を始期とする「子ども・若者に係る総合的な計画」を来年度に策定するに当たり、昨年9月から順次実施してきた子育て支援に関する市民ニーズ調査などの9つの市民ニーズ調査・意識調査にあらかじめ設定していた子どもの生活状況等に関する調査項目を抽出し、家庭の経済状況と生活状況等の相関関係等を把握したものです。

平成31年2月

京都市

目 次

I. 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査設計	1
3 報告書の見方	3
II. 調査結果	5
1 基本属性	5
(1) 世帯の基本属性	5
ア 世帯構成 (SA)	5
イ 世帯の昨年 1 年間の可処分所得 (SA)	6
(2) 保護者の基本属性	10
ア 調査票の記入者 (子どもからみた続柄) (SA)	10
イ 最終学歴 (SA)	11
2 就労状況・勤務状況	11
(1) 就労状況	12
ア 就労状況 (SA)	12
イ 就労形態 (SA)	15
ウ 現在就労していない主な理由 (SA)	16
(2) 勤務状況	17
ア 就労日数	17
イ 家を出る時間	19
ウ 帰宅時間	21
エ 1 週当たりの就労時間	23
3 子ども等の状況	25
(1) 子ども等の学力・学習等の状況	25
ア 学習塾や習い事の利用状況 (SA)	25
イ 子どもの学校での勉強の成績 (SA)	28
ウ 子どもの登校状況 (SA)	32
(2) 子ども等の健康・生活習慣の状況	33
ア 朝食・夕食の頻度 (SA)	33
イ 朝食・夕食を一緒に食べる人 (MA)	35
ウ 子どもの夕食をつくる (料理 (離乳食を含む。) する) 頻度 (SA)	39
エ 平日の起床時間・就寝時間	40
オ 平日のスマートフォンや携帯電話, タブレット端末 (インターネット利用含む) の利用時間 (SA)	41
カ 過去 1 年間の学校の授業, 自宅以外での文化芸術活動・自然体験・スポーツ活動の頻度 (SA)	42
キ 自己肯定感 (SA)	45

4	回答者の状況	58
(1)	回答者の健康状態	58
ア	現在の気持ちやからだの調子 (SA)	58
イ	ゆったりとした気分でお子さまと過ごせる時間があるか (SA)	58
(2)	子どもと遊ぶ頻度・子どもと話す頻度・勉強を教える頻度	59
ア	子どもと遊ぶ頻度 (SA)	59
イ	子どもと生活状況について話をする頻度 (SA)	60
ウ	子どもに勉強を教える頻度 (SA)	61
(3)	子どもに望む最終学歴, 子育てにかけける時間やお金の優先度	62
ア	子どもの進学についての希望 (④ひとり親家庭調査: MA, ⑥-3 青少年・若者調査 [保護者]: SA)	62
イ	子育てにかけける時間の優先度 (SA)	63
ウ	子育てにかけけるお金の優先度 (SA)	63
(4)	相談相手の状況	65
ア	子育てについて日頃気になることの相談相手・相談先 (MA)	65
イ	日頃, 子どもを預けられる人の有無 (MA)	66
(5)	悩んでいること	69
ア	子育てをしている今の気持ち (SA)	69
イ	日頃, 不安に感じていること (SA)	69
(6)	生活で重要だと考えていること	74
ア	生活で最も重要だと考えていること (価値観) (SA)	74
5	結婚・出産に対する考え	77
(1)	結婚に対する考え	77
ア	婚姻状況 (SA)	77
イ	結婚願望 (SA)	77
(2)	出産に対する考え	77
ア	現在の子どもの数 (SA)	77
イ	予定の子どもの数 (SA)	78
ウ	理想の子どもの数 (SA)	78
エ	子どもを持たない理由 (MA)	78
6	青少年の意識や家庭の状況	79
(1)	悩みや心配ごと, 家庭の状況	79
ア	こころの健康状態 (SA)	79
イ	現在の悩みや心配ごと (MA)	79
ウ	保護者の婚姻状況 (SA)	80
(2)	将来の考え	80
ア	将来の自分のライフデザインの有無 (SA)	80
イ	将来の結婚や子育てについての考え (SA)	81
7	子育て支援策について	82
(1)	情報の入手方法	82

ア	子育てに関する情報の入手方法（MA）	82
(2)	地域との関わり	83
ア	自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じるか。（SA）	83
イ	子育てをするうえで、近所・地域の人々に期待すること（MA）	84
(3)	京都市における子育て支援	85
ア	今後、京都市・京都府・国に最も期待すること（SA）	85
イ	子どもにとって充実するとよい支援（MA）	86
ウ	現在の京都市についての実感（SA）	87

I. 調査の概要

1 調査の目的

「京都市貧困家庭の子ども・青少年対策に関する実施計画」（平成29年3月策定）の基礎資料とすることを目的に実施した「京都市子どもの生活状況等に関する調査（平成28年8月実施）」からの経年変化を補足するとともに、新たに18歳以上の青少年・若者について、幼少期の家族との関わりや社会体験の有無による、現在の生活状況、就職、自己肯定感の違いを調査することにより、新計画策定に向けた基礎資料とすることを目的としています。

2 調査設計

●調査方法

平成32年度を始期とする「子ども・若者に係る総合的な計画」を来年度に策定するに当たり、昨年9月から順次実施してきた以下の市民ニーズ調査・意識調査にあらかじめ設定していた子どもの生活状況等に関する調査の項目を抽出し、家庭の経済状況と生活状況等の相関関係等を把握しました。

調査区分		調査対象者 (配布数)	有効回収数	有効回収率
①	子育て支援に関する市民ニーズ調査（小学校入学前児童）	6,500件	3,191件	49.1%
②	子育て支援に関する市民ニーズ調査（小学生児童）	6,500件	3,202件	49.3%
③	家族や家庭生活のあり方に関する意識調査	6,500件	1,866件	28.7%
④	ひとり親家庭に関する実態調査	5,000件	1,272件	25.4%
⑤	母子保健に関する意識調査	3,162件	1,327件	42.0%
⑥-1 ⑥-2	青少年・若者に関する意識行動と 思春期保健に関する調査（青少年・ 若者）	6,500件	1,393件	21.4%
⑥-3	青少年・若者に関する意識行動と 思春期保健に関する調査（保護者）	2,500件	638件	25.5%
⑦	放課後の過ごし方に関する調査 （小学校用）	31,696 件	14,218 件	44.9%
⑧	放課後の過ごし方に関する調査 （総合支援学校用）	1,133件	475件	41.9%

※⑥については、「京都市子どもの生活状況等に関する調査」においては、設問によって、「⑥-1 青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査（中高生）」と「⑥-2 青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査（中高生以外）」に分けているものがあります。また、保護者に対する調査は「⑥-3 青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査（保護者）」としています。

- 抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出（①～④，⑥～⑦）
- 調査期間：成30年9月7日～9月21日（①～④，⑥～⑦）
平成30年9月3日～10月12日（⑤）
- 調査方法：郵送による配布・回収（①～④，⑥～⑦）
保健センター・支所における乳幼児健康診査会場でアンケート票配布・郵送回収（⑤）
学校を通じた配布，郵送回収（⑦⑧）

3 報告書の見方

- 回答については、家庭の経済状況との相関関係を把握するため、所得に応じた結果（国が示す貧困線を下回るか）を各々記載しています。
- 回答は、各質問の回答者数（図表中の「N」）を基数とした百分率（%）で示しています。また、有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入しているため、S A：単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても同様です。
- MA：複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- 設問によっては、結果を詳細に分析するため、クロス集計表（※）を掲載しています。クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。

※クロス集計

複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

- 平成28年度に実施した「京都市子どもの生活状況等に関する調査」（※）からの経年変化を補足するため、一部の項目には当該調査の数値を記載していますが、今回の調査と調査対象及び回答者数の分母が異なるため、経年比較を見る際は留意する必要があります。

※「京都市子どもの生活状況等に関する調査」

住民基本台帳から無作為抽出した京都市内の0～17歳の子どもがいる世帯に対し実施した調査です。調査は、乳幼児（0～5歳）、小学生（6～11歳）、中高生（12～17歳）に各々6,000件ずつ実施しました。

【本調査における世帯の所得が「貧困線」を下回るとする基準の算定方法】

国においては、国民生活基礎調査を基に、世帯人数ごとの等価可処分所得（可処分所得（いわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割ったもの）の分布の中央値の半分の額をつないだ「貧困線」とし、これを基に全国の貧困率を算出しています。

一方、貧困線の都道府県、市町村別の数値が出されていないため、本調査においては、便宜的に、国が国民生活基礎調査により算出した全国の貧困線を基に、回答いただいた世帯の経済状況を判断しています。

また、国の貧困線算定に当たっての所得の把握方法としては、回答者が金額を記入する方式を採っていますが、本市の調査では、回答いただく方の負担を考慮し、100万円単位等で区分した金額の選択肢から選んでいただく方式により、概ねの可処分所得を把握しています

◆貧困線の基準（国の基準：平成２８年度国民生活基礎調査による）

世帯人員	２人	３人	４人	５人	６人	７人	８人
相対的貧困線の 等価可処分所得	173 万 円	212 万 円	244 万 円	273 万 円	299 万 円	323 万 円	345 万 円

※ 等価可処分所得：手取りの収入（可処分所得）を世帯人員の平方根で除したもの

◆本市における「貧困線」以上・以下の判定方法

アンケート調査で回答いただく収入の選択肢には幅があるため（①０～１００万円，②１０１～２００万円など），回答いただいた選択肢の中央値を所得額と仮定して判定しています。

（例）手取り収入（可処分所得）を「201～300 万円」と回答した３人世帯と２人世帯の場合

- ・手取り収入の算定…選択肢における収入幅の中央値の 250 万円と仮定
- ・「貧困線」以上・以下の判定
 - 等価可処分所得：250 万円÷「 $\sqrt{3}$ 」 $\approx$ 144.3 万円<212 万円（３人世帯の貧困線）
⇒当該世帯は「貧困線」以下にあると推計
 - 等価可処分所得：250 万円÷「 $\sqrt{2}$ 」 $\approx$ 177.1 万円>173 万円（２人世帯の貧困線）
⇒当該世帯は「貧困線」以上にあると推計

II. 調査結果

1 基本属性

(1) 世帯の基本属性

ア 世帯構成 (SA)

- ・全体では、すべての調査において、「夫婦と子ども」の割合が最も高くなっています。
- ・「貧困線以下の所得の世帯」では、「親一人と子ども」の割合が全体よりも高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	夫婦と子ども	三世代	親一人と子ども	その他	不明・無回答
①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	87.2	5.9	3.7	2.7	0.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	63.1	11.4	21.1	4.1	0.3
【平成28年調査】 単位：％	夫婦と子ども	三世代	親一人と子ども	その他	不明・無回答
乳幼児調査(N=3,248)	89.3	5.6	3.4	1.6	0.1
【平成30年調査】 単位：％	夫婦と子ども	三世代	親一人と子ども	その他	不明・無回答
②小学生児童調査 (N=3,202)	80.1	6.2	9.3	3.6	0.8
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	45.3	8.0	42.3	4.5	0.0
【平成28年調査】 単位：％	夫婦と子ども	三世代	親一人と子ども	その他	不明・無回答
小学生調査(N=2,889)	81.3	7.9	9.6	1.2	0.0
【平成30年調査】 単位：％	夫婦と子ども	三世代	親一人と子ども	その他	不明・無回答
⑥-3青少年・若者調査[保護者] (N=638)	70.2	10.3	18.5	0.9	0.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	19.5	18.4	60.9	1.1	0.0
【平成28年調査】 単位：％	夫婦と子ども	三世代	親一人と子ども	その他	不明・無回答
中高生等調査(N=2,642)	73.3	10.0	14.3	2.5	0.0

イ 世帯の昨年1年間（平成29年1月1日～同年12月31日の期間）の可処分所得（SA）

・全体では、「わからない」又は「不明・無回答」を除き、①小学校入学前児童調査、②小学生児童調査、⑤母子保健調査において「401万～500万円」、③家族・家庭生活調査において「301万～400万円」、⑥－2 青少年・若者調査[中高生以外]において「201万～300万円」、⑥－3 青少年・若者調査[保護者]において、「501万～600万円」の割合が最も高くなっています。

・「貧困線以下の所得の世帯」では、①小学校入学前児童調査、⑤母子保健調査、⑥青少年・若者調査[青少年]において「0～100万円」、②小学生児童調査、③家族・家庭生活調査、⑥－3 青少年・若者調査[保護者]において「101万～200万円」の割合が最も高くなっています。

・一方、④ひとり親家庭調査では、「不明・無回答」を除くと、全体、「貧困線以下の所得の世帯」のいずれにおいても「100万～150万円未満」の割合が最も高くなっています。

・本調査において、所得が「貧困線」を下回ると考えられる世帯の割合について、①小学校入学前児童調査では「9.9%」、②小学生児童調査では「12.5%」、③家族・家庭生活調査では「11.2%」、④ひとり親家庭調査では「20.7%」、⑤母子保健調査では「12.1%」、⑥青少年・若者調査[青少年]では「14.4%」、⑥－3 青少年・若者調査[保護者]では「13.6%」となっています。なお、④ひとり親家庭に関する実態調査については、可処分所得に関する設問結果の「不明・無回答」の割合が多かったこと等から、国の調査結果（50.8%（平成28年国民生活基礎調査））と異なっています。

・平成28年度調査からの経年変化では、①小学校入学前児童調査の「貧困線以下の所得の世帯」において、平成28年度調査よりも「0～100万円」の割合が高くなっていますが、おおむね大きな違いは見られませんでした。

【平成30年調査】 単位：%	0～ 100万円	101万～ 200万円	201万～ 300万円	301万～ 400万円	401万～ 500万円
①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	4.2	3.5	11.1	18.2	19.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	42.3	35.3	22.1	0.3	0.0
【平成30年調査】 単位：%	501万～ 600万円	601万～ 800万円	801万～ 1,000万円	1,001万円 以上	不明・ 無回答
①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	14.1	13.6	5.9	4.4	5.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
【平成28年調査】 単位：%	0～ 100万円	101万～ 200万円	201万～ 300万円	301万～ 400万円	401万～ 500万円
乳幼児調査(N=3,248)	4.2	5.2	14.3	21.7	17.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=360)	37.5	46.1	16.4	0.0	0.0
【平成28年調査】 単位：%	501万～ 600万円	601万～ 800万円	801万～ 1,000万円	1,001万円 以上	不明・ 無回答
乳幼児調査(N=3,248)	11.5	10.5	3.4	1.7	10.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=360)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【平成30年調査】 単位：％	0～ 100万円	101万～ 200万円	201万～ 300万円	301万～ 400万円	401万～ 500万円
②小学生児童調査 (N=3,202)	4.2	5.3	9.2	16.2	17.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	33.5	41.8	24.8	0.0	0.0

【平成30年調査】 単位：％	501万～ 600万円	601万～ 800万円	801万～ 1,000万円	1,001万円 以上	不明・ 無回答
②小学生児童調査 (N=3,202)	13.9	15.3	8.3	4.7	5.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【平成28年調査】 単位：％	0～ 100万円	101万～ 200万円	201万～ 300万円	301万～ 400万円	401万～ 500万円
小学生調査(N=2,889)	4.7	6.3	10.7	16.6	15.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=379)	35.6	48.0	16.4	0.0	0.0

【平成28年調査】 単位：％	501万～ 600万円	601万～ 800万円	801万～ 1,000万円	1,001万円 以上	不明・ 無回答
小学生調査(N=2,889)	12.4	12.1	5.5	3.3	12.9
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=379)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【平成30年調査】 単位：％	0～ 100万円	101万～ 200万円	201万～ 300万円	301万～ 400万円	401万～ 500万円
③家族・家庭生活調査(N=1,866)	5.1	8.1	14.6	15.8	13.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=209)	45.9	51.2	2.9	0.0	0.0

【平成30年調査】 単位：％	501万～ 600万円	601万～ 800万円	801万～ 1,000万円	1,001万円 以上	不明・ 無回答
③家族・家庭生活調査(N=1,866)	9.7	10.5	5.6	4.0	13.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=209)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【平成30年調査】 単位：％	50万円未満	50万～100 万円未満	100万～150 万円未満	150万～200 万円未満	200万～250 万円未満	250～300万 円未満	300万～350 万円未満
④ひとり親家庭調査(N=1,272)	5.3	3.3	6.8	6.1	6.2	5.5	4.6
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=263)	25.5	16.0	32.3	19.0	6.5	0.8	0.0

【平成30年調査】 単位：％	350万～400 万円未満	400万～500 万円未満	500万～600 万円未満	600万～700 万円未満	700万～800 万円未満	800万円以 上	不明・ 無回答
④ひとり親家庭調査(N=1,272)	3.5	3.5	3.2	1.0	1.3	2.4	47.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=263)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【平成28年調査】 単位：％	0～ 100万円	101万～ 200万円	201万～ 300万円	301万～ 400万円	401万～ 500万円
(参考)ひとり親世帯全体 (N=985)	20.1	28.6	18.7	8.9	5.0

【平成28年調査】 単位：％	501万～ 600万円	601万～ 800万円	801万～ 1,000万円	1,001万円 以上	不明・ 無回答
(参考)ひとり親世帯全体 (N=985)	2.0	1.3	1.1	0.6	13.6

【平成30年調査】 単位：％	0～ 100万円	101万～ 200万円	201万～ 300万円	301万～ 400万円	401万～ 500万円
⑤母子保健調査(N=1,327)	5.9	5.6	11.0	18.1	19.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=161)	47.8	46.6	5.6	0.0	0.0
【平成30年調査】 単位：％	501万～ 600万円	601万～ 800万円	801万～ 1,000万円	1,001万円 以上	不明・ 無回答
⑤母子保健調査(N=1,327)	14.0	11.8	4.6	3.2	6.6
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=161)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

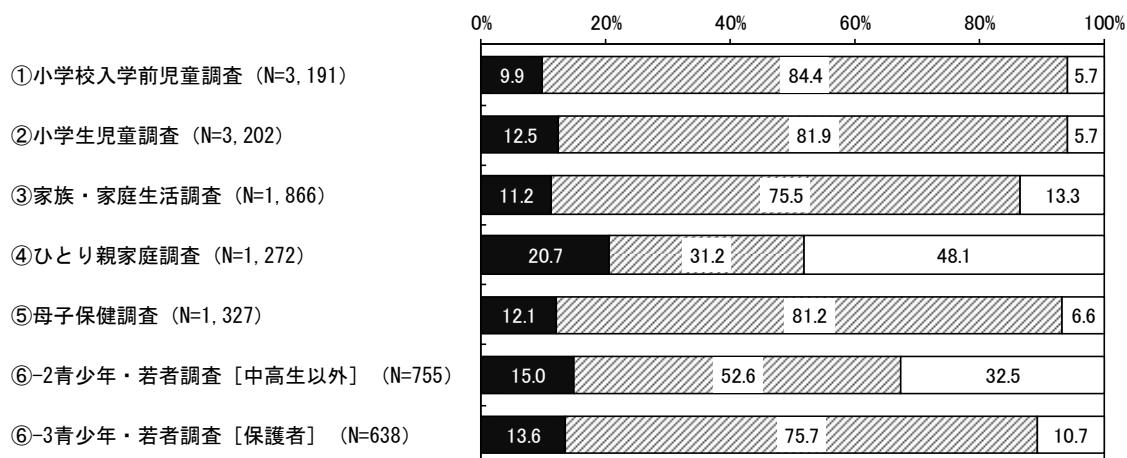
【平成30年調査】 単位：％	0～ 100万円	101万～ 200万円	201万～ 300万円	301万～ 400万円	401万～ 500万円
⑥-2青少年・若者調査[中高生以外] (N=755)	9.7	8.9	14.3	13.2	7.7
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=113)	64.6	33.6	1.8	0.0	0.0
【平成30年調査】 単位：％	501万～ 600万円	601万～ 800万円	801万～ 1,000万円	1,001万円 以上	不明・ 無回答
⑥-2青少年・若者調査[中高生以外] (N=755)	4.2	4.2	2.6	2.6	32.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=113)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【平成30年調査】 単位：％	0～ 100万円	101万～ 200万円	201万～ 300万円	301万～ 400万円	401万～ 500万円
⑥-3青少年・若者調査[保護者] (N=638)	4.1	8.2	10.0	14.9	13.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	29.9	59.8	10.3	0.0	0.0
【平成30年調査】 単位：％	501万～ 600万円	601万～ 800万円	801万～ 1,000万円	1,001万円 以上	不明・ 無回答
⑥-3青少年・若者調査[保護者] (N=638)	15.2	13.0	8.0	3.9	9.2
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【平成28年調査】 単位：％	0～ 100万円	101万～ 200万円	201万～ 300万円	301万～ 400万円	401万～ 500万円
中高生等調査(N=2,642)	5.4	8.3	11.5	13.4	13.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=411)	33.8	52.1	14.1	0.0	0.0
【平成28年調査】 単位：％	501万～ 600万円	601万～ 800万円	801万～ 1,000万円	1,001万円 以上	不明・ 無回答
中高生等調査(N=2,642)	10.3	13.5	8.1	4.8	11.2
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=411)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

《「貧困線」を下回る所得の世帯の割合》

■ 貧困線以下の所得の世帯 ▨ 貧困線以下の所得に該当しない世帯 □ 不明・無回答



【参考】

ひとり親家庭調査（※「不明・無回答」を除いた割合）

【平成30年調査】 単位：％	50万円未満	50万～100万円未満	100万～150万円未満	150万～200万円未満	200万～250万円未満	250～300万円未満	300万～350万円未満
④ひとり親家庭調査(N=1,272)	10.0	6.3	12.9	11.5	11.8	10.5	8.8
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=263)	25.5	16.0	32.3	19.0	6.5	0.8	0.0

【平成30年調査】 単位：％	350万～400万円未満	400万～500万円未満	500万～600万円未満	600万～700万円未満	700万～800万円未満	800万円以上
④ひとり親家庭調査(N=1,272)	6.6	6.6	6.1	1.9	2.4	4.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=263)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【平成28年調査】 単位：％	0～100万円	101万～200万円	201万～300万円	301万～400万円	401万～500万円
(参考)ひとり親世帯全体 (N=985)	20.1	28.6	18.7	8.9	5.0

【平成28年調査】 単位：％	501万～600万円	601万～800万円	801万～1,000万円	1,001万円以上	不明・無回答
(参考)ひとり親世帯全体 (N=985)	2.0	1.3	1.1	0.6	13.6

(2) 保護者の基本属性

ア 調査票の記入者（子どもからみた続柄）（SA）

全体では、①小学校入学前児童調査、②小学生児童調査、⑥－3 青少年・若者調査〔保護者〕において、「母」の割合が、④ひとり親家庭調査では、「母子家庭」の割合が最も高くなっており、これらは、「貧困線以下の所得の世帯」においても、おおむね同様の傾向となっています。

【平成30年調査】 単位：％	父	母	その他	不明・無回答
①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	7.4	92.4	0.0	0.2
うち 貧困線以下の所得世帯 (N=317)	3.5	96.5	0.0	0.0
【平成28年調査】 単位：％	父	母	その他	不明・無回答
乳幼児調査(N=3,248)	12.2	87.6	0.2	0.1
【平成30年調査】 単位：％	父	母	その他	不明・無回答
②小学生児童調査 (N=3,202)	8.9	90.4	0.3	0.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	5.0	93.8	0.8	0.5
【平成28年調査】 単位：％	父	母	その他	不明・無回答
小学生調査(N=2,889)	14.9	84.2	0.4	0.5
【平成30年調査】 単位：％	父	母	その他	不明・無回答
④ひとり親家庭調査(N=1,272)	21.5	78.5	－	－
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=263)	10.6	89.4	－	－
【平成30年調査】 単位：％	父	母	その他	不明・無回答
⑥－3青少年・若者調査〔保護者〕 (N=638)	10.7	88.2	1.0	0.2
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	6.9	90.8	2.2	0.0
【平成28年調査】 単位：％	父	母	その他	不明・無回答
中高生等調査(N=2,642)	16.4	82.2	0.8	0.6

イ 最終学歴 (SA)

・全体では、③家族・家庭生活調査では「大学」の割合が最も高く、次いで「高校」となっており、④ひとり親家庭調査では「高校」の割合が最も高く、次いで「短大・高等専門学校」となっています。

・「貧困線以下の所得の世帯」では、③家族・家庭生活調査、④ひとり親家庭調査ともに「高校」の割合が全体よりも高く、「大学」が全体よりも低くなっています。

単位: %	中学校	高校	短大・高等専門学校	大学	大学院
③家族・家庭生活調査 (N=1,866)	3.2	19.8	14.8	42.7	8.3
うち 貧困線以下の所得 世帯 (N=209)	7.2	25.4	14.8	28.7	6.7

単位: %	専修学校・各種 学校	わからない	その他	不明・無回答
③家族・家庭生活調査 (N=1,866)	10.1	0.1	0.6	0.4
うち 貧困線以下の所得 世帯 (N=209)	14.8	0.5	1.9	0.0

【平成30年調査】 単位: %	中学校	高校	短大・高等専門学校	大学・大学院	その他	不明・無回答
④ひとり親家庭調査 (N=1,272)	11.6	33.7	31.1	22.6	0.7	0.3
うち 貧困線以下の所得の 世帯 (N=263)	11.8	40.7	33.5	13.7	0.4	0.0

【平成28年調査】 単位: %	高校等	高専, 短大, 専 門学校等	大学・大学院	その他	不明・無回答
(参考)ひとり親(母親)世帯 全体 (N=985)	45.9	34.4	18.6	0.4	0.7

2 就労状況・勤務状況

(1) 就労状況

ア 就労状況 (SA)

・全体では、父親、母親ともに、すべての調査において「就労している」の割合が最も高くなっています。

・「貧困線以下の所得の世帯」では、父親は、すべての調査において、「就労している」の割合が低くなっている一方で、母親は、①小学校入学前児童調査、②小学生児童調査において、「就労している」の割合が高くなっています。

・平成28年度調査からの経年変化では、父親は、①小学校入学前児童調査、②小学生児童調査、⑥-3青少年・若者調査〔保護者〕において、「貧困線以下の所得の世帯」の「就労している」の割合が低くなっており、母親は、おおむね大きな違いは見られませんでした。

【父親】

【平成30年調査】 単位：％	就労している	育休・介護休業中	現在 就労していない	不明・無回答
①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	94.5	0.3	0.7	4.6
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	73.8	0.6	1.3	24.3
【平成28年調査】 単位：％	就労している	育休・介護休業中	現在 就労していない	不明・無回答
乳幼児調査(N=3,083)	97.6	0.2	1.5	0.8
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=247)	91.6	0.0	7.3	1.1
【平成30年調査】 単位：％	就労している	育休・介護休業中	現在 就労していない	不明・無回答
②小学生児童調査 (N=3,202)	89.5	0.1	0.9	9.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	51.8	0.0	3.5	44.8
【平成28年調査】 単位：％	就労している	育休・介護休業中	現在 就労していない	不明・無回答
小学生調査(N=2,528)	97.2	0.1	1.6	1.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=205)	90.2	0.5	7.8	1.5
【平成30年調査】 単位：％	就労している	育休・介護休業中	現在 就労していない	不明・無回答
④ひとり親家庭調査(N=273)	91.6	-	7.0	1.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=28)	89.3	-	7.1	3.6
【平成30年調査】 単位：％	就労している	育休・介護休業中	現在 就労していない	不明・無回答
⑥-3青少年・若者調査〔保護者〕 (N=638)	78.1	0.0	1.4	20.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	34.5	0.0	5.7	59.8
【平成28年調査】 単位：％	就労している	育休・介護休業中	現在 就労していない	不明・無回答
中高生等調査(N=2,177)	96.7	0.1	1.8	1.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=188)	89.4	0.0	8.5	2.1

※アンケートではフルタイム＝1週5日・1日8時間程度の就労と説明しており、フルタイム＝正社員としていないため、「就労形態」の項目も併せて掲載しています。

【母親】

【平成30年調査】 単位：％	就労している	育休・介護休業中	現在 就労していない	不明・無回答
①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	51.3	12.0	36.4	0.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	60.3	8.8	29.7	1.3
【平成28年調査】 単位：％	就労している	育休・介護休業中	現在 就労していない	不明・無回答
乳幼児調査(N=3,234)	51.2	9.7	38.6	0.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=355)	60.0	8.7	30.4	0.8
【平成30年調査】 単位：％	就労している	育休・介護休業中	現在 就労していない	不明・無回答
②小学生児童調査 (N=3,202)	72.3	1.4	24.6	1.7
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	80.8	1.3	16.8	1.3
【平成28年調査】 単位：％	就労している	育休・介護休業中	現在 就労していない	不明・無回答
小学生調査(N=2,822)	71.8	1.5	26.2	0.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=366)	79.5	1.9	17.8	0.8
【平成30年調査】 単位：％	就労している	育休・介護休業中	現在 就労していない	不明・無回答
④ひとり親家庭調査(N=999)	86.0	-	11.9	2.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=235)	86.8	-	10.6	2.6
【平成30年調査】 単位：％	就労している	育休・介護休業中	現在 就労していない	不明・無回答
⑥-3青少年・若者調査[保護者] (N=638)	76.0	0.5	16.8	6.7
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	71.3	2.3	11.5	14.9
【平成28年調査】 単位：％	就労している	育休・介護休業中	現在 就労していない	不明・無回答
中高生等調査(N=2,555)	78.4	0.4	20.3	0.9
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	80.0	0.3	19.8	0.0

《家族類型》

・全体では、①小学校入学前児童調査において「専業主婦（夫）」が、②小学生児童調査、⑥－3 青少年・若者調査〔保護者〕において「フルタイム・パート」の割合が高くなっています。

・「貧困線以下の所得の世帯」では、①小学校入学前児童調査において「共働き（両親ともフルタイム）」、②小学生児童調査、⑥－3 青少年・若者調査〔保護者〕において「ひとり親（フルタイム）」の割合が高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	ひとり親（フルタイム）	ひとり親（パート等）	ひとり親（無職）	共働き（両親ともフルタイム）	フルタイム・パート等	専業主婦（夫）	両親ともパート	両親とも無職	不明・無回答
①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	1.8	1.1	0.8	32.9	26.2	35.7	0.4	0.1	1.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	7.6	8.2	5.4	25.6	23.7	24.0	1.9	0.3	3.5
【平成30年調査】 単位：％	ひとり親（フルタイム）	ひとり親（パート等）	ひとり親（無職）	共働き（両親ともフルタイム）	フルタイム・パート等	専業主婦（夫）	両親ともパート	両親とも無職	不明・無回答
②小学生児童調査 (N=3,202)	5.3	3.1	0.8	24.2	39.9	24.0	0.3	0.2	2.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	16.0	21.0	5.0	14.5	24.0	13.5	1.3	0.8	4.0
【平成30年調査】 単位：％	ひとり親（フルタイム）	ひとり親（パート等）	ひとり親（無職）	共働き（両親ともフルタイム）	フルタイム・パート等	専業主婦（夫）	両親ともパート	両親とも無職	不明・無回答
⑥－3 青少年・若者調査〔保護者〕 (N=638)	12.9	3.6	0.9	18.7	37.1	16.0	0.2	0.2	10.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	29.9	20.7	4.6	11.5	9.2	9.2	0.0	1.1	13.8

イ 就労形態（SA）

- ・全体では、すべての調査において、「正社員・正職員」の割合が高くなっています。
- ・「貧困線以下の所得の世帯」では、すべての調査において、全体よりも「正社員・正職員」の割合が低く、「契約・パート・アルバイト」の割合が高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	正社員・正職員	契約・パート・アルバイト	派遣社員	自営業主	家族従業者
③家族・家庭生活調査(N=1,866)	47.3	22.3	2.0	4.2	1.2
うち 貧困線以下の所得の世帯(N=209)	19.6	39.2	2.9	6.2	0.5
【平成30年調査】 単位：％	内職・在宅就業	無職・家事専業	専門学生・大学生等	その他	不明・無回答
③家族・家庭生活調査(N=1,866)	0.8	13.0	7.2	1.8	0.1
うち 貧困線以下の所得の世帯(N=209)	1.0	18.2	9.6	2.9	0.0
【平成30年調査】 単位：％	正社員・正職員	契約・パート・アルバイト	派遣社員	自営業主	家族従業者
④ひとり親家庭調査(N=1,109)	49.0	36.6	2.5	8.6	0.9
うち 貧困線以下の所得の世帯(N=263)	27.1	55.5	4.8	8.7	1.3
【平成30年調査】 単位：％	内職・在宅就業	その他	不明・無回答		
④ひとり親家庭調査(N=1,109)	0.6	1.4	0.5		
うち 貧困線以下の所得の世帯(N=263)	0.9	1.3	0.4		
【平成28年調査】 単位：％	正社員・正職員	契約・パート・アルバイト	派遣社員	自営業主	家族従業者
(参考)ひとり親(母親)世帯全体(N=759)	40.4	52.1	3.3	4.9	1.3
【平成28年調査】 単位：％	内職・在宅就業	その他	不明・無回答		
(参考)ひとり親(母親)世帯全体(N=759)	-	0.9	0.3		
【平成30年調査】 単位：％	正社員・正職員	契約・パート・アルバイト	派遣社員	自営業主	家族従業者
⑤母子保健調査(N=726)	57.4	33.6	2.1	2.6	1.9
うち 貧困線以下の所得の世帯(N=114)	22.8	61.4	0.9	6.1	4.4
【平成30年調査】 単位：％	内職・在宅就業	その他	不明・無回答		
⑤母子保健調査(N=726)	1.1	0.8	0.4		
うち 貧困線以下の所得の世帯(N=114)	1.8	1.8	0.9		
【平成30年調査】 単位：％	正社員・正職員	契約・パート・アルバイト	派遣社員	自営業主	家族従業者
⑥青少年・若者調査[青少年](N=613)	52.0	15.2	3.3	1.5	0.5
うち 貧困線以下の所得の世帯(N=66)	24.2	28.8	4.5	0.0	0.0
【平成30年調査】 単位：％	内職・在宅就業	無職・家事専業	その他	不明・無回答	
⑥青少年・若者調査[青少年](N=613)	0.7	10.9	1.6	14.4	
うち 貧困線以下の所得の世帯(N=66)	1.5	16.7	3.0	21.2	

アで「現在就労していない」と答えた方

ウ 現在就労していない主な理由（SA）

・全体では、①小学校入学前児童調査、②小学生児童調査ともに「子育てのため」の割合が最も高く、次いで「配偶者が就労しているなどで就労する必要がないため」となっています。

・「貧困線以下の所得の世帯」では、両調査ともに、「配偶者が就労しているなどで就労する必要がないため」の割合が低く、「健康上の問題があるため」の割合が高くなっています。

【母親】

【平成30年調査】 単位：％	配偶者が就労しているなどで就労する必要がないため	子育てのため	家族・親族等の看護・介護のため	健康上の問題があるため	働きたいが、家族の理解が得られないため	条件に合った仕事が見つからないため	その他	不明・無回答
①小学校入学前児童調査 (N=1,162)	13.9	64.7	0.8	1.6	0.3	4.0	5.4	9.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=94)	7.4	59.6	1.1	5.3	1.1	7.4	6.4	11.7
【平成30年調査】 単位：％	配偶者が就労しているなどで就労する必要がないため	子育てのため	家族・親族等の看護・介護のため	健康上の問題があるため	働きたいが、家族の理解が得られないため	条件に合った仕事が見つからないため	その他	不明・無回答
②小学生児童調査(N=789)	22.6	45.2	2.8	5.3	0.4	11.3	5.8	6.6
うち 貧困線以下の所得の世帯(N=67)	7.5	46.3	4.5	11.9	0.0	9.0	14.9	6.0

【平成30年調査】 単位：％	子どもの世話をしてくれる人がいない	病気で働けない	求職中	職業訓練を受けたり技術習得中	家族の世話をするため仕事につけない
④ひとり親家庭(母子)調査 (N=119)	15.1	36.1	25.2	6.7	12.6
うち 貧困線以下の所得の世帯(N=25)	20.0	20.0	24.0	12.0	20.0
【平成30年調査】 単位：％	収入面で条件の合う仕事がない	勤務時間の面で条件の合う仕事がない	年齢的に条件の合う仕事がない	その他	不明・無回答
④ひとり親家庭(母子)調査 (N=119)	5.9	18.5	5.9	13.4	10.9
うち 貧困線以下の所得の世帯(N=25)	0.0	20.0	8.0	20.0	8.0

※ 父親については、標本数が少ないため掲載していない。

(2) 勤務状況

ア 就労日数

・全体では、すべての調査において、父親、母親ともに「5日」の割合が最も高く、次いで「6日以上」となっています。

・「貧困線以下の所得の世帯」では、すべての調査において、父親は「6日以上」、母親は「5日」の割合が最も高くなっており、「6日以上」の割合が全体よりも高くなっています。

・平成28年度調査からの経年変化では、父親は①小学校入学前児童調査、②小学生児童調査において、「6日以上」の割合が平成28年度調査よりも高くなっています。母親は①小学校入学前児童調査、②小学生児童調査において、「5日」の割合が平成28年調査よりも低くなる一方で、「4日」「6日以上」の割合が高くなっています。

【父親】

【平成30年調査】 単位：％	2日以下	3日	4日	5日	6日以上	不明・ 無回答
①小学校入学前児童調査 (N=3,015)	0.3	1.1	0.8	55.1	37.8	5.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=234)	1.3	2.1	2.1	35.9	55.6	3.0
【平成28年調査】 単位：％	2日以下	3日	4日	5日	6日以上	不明・ 無回答
乳幼児調査(N=3,007)	0.7	0.8	0.7	61.4	28.7	7.7
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=251)	1.2	2.0	1.6	40.6	46.2	8.4
【平成30年調査】 単位：％	2日以下	3日	4日	5日	6日以上	不明・ 無回答
②小学生児童調査 (N=2,866)	0.3	0.5	0.7	50.3	41.5	6.7
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=207)	0.0	0.0	1.0	20.8	68.6	9.7
【平成28年調査】 単位：％	2日以下	3日	4日	5日	6日以上	不明・ 無回答
小学生調査(N=2,458)	0.2	0.2	0.7	57.8	31.6	2.8
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=185)	0.5	2.2	1.6	27.6	62.2	5.9
【平成30年調査】 単位：％	2日以下	3日	4日	5日	6日以上	不明・ 無回答
⑥-3青少年・若者調査[保護者] (N=498)	0.2	0.8	1.2	56.4	35.5	5.8
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=30)	0.0	3.3	3.3	33.3	43.3	16.7
【平成28年調査】 単位：％	2日以下	3日	4日	5日	6日以上	不明・ 無回答
中高生等調査(N=2,106)	0.3	0.7	1.0	56.5	36.7	4.8
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=168)	0.0	0.6	0.6	41.7	51.2	6.0

【母親】

【平成30年調査】 単位：％	2日以下	3日	4日	5日	6日以上	不明・ 無回答
①小学校入学前児童調査 (N=1,636)	6.1	8.8	16.8	55.0	11.1	2.2
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=191)	3.7	6.8	16.8	51.8	18.8	2.1
【平成28年調査】 単位：％	2日以下	3日	4日	5日	6日以上	不明・ 無回答
乳幼児調査(N=1,656)	5.0	8.8	13.1	61.1	8.8	3.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=213)	1.4	7.5	15.5	56.8	17.8	0.9
【平成30年調査】 単位：％	2日以下	3日	4日	5日	6日以上	不明・ 無回答
②小学生児童調査 (N=2,315)	6.8	13.0	19.7	45.4	12.1	2.9
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=323)	4.3	8.0	21.4	42.7	19.2	4.3
【平成28年調査】 単位：％	2日以下	3日	4日	5日	6日以上	不明・ 無回答
小学生調査(N=2,027)	8.7	13.9	16.0	48.4	10.4	2.6
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=291)	4.1	8.6	15.1	54.0	16.5	1.7
【平成30年調査】 単位：％	2日以下	3日	4日	5日	6日以上	不明・ 無回答
⑥-3青少年・若者調査[保護者] (N=485)	4.5	12.6	20.2	46.2	13.4	3.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=62)	0.0	1.6	16.1	54.8	22.6	4.8
【平成28年調査】 単位：％	2日以下	3日	4日	5日	6日以上	不明・ 無回答
中高生等調査(N=2,003)	5.3	11.0	15.3	51.6	14.1	2.7
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=320)	2.2	9.1	11.9	52.2	22.2	2.5

イ 家を出る時間

・全体では、父親は、すべての調査において、「～7時台」の割合が最も高く、母親は「8時台」の割合が最も高くなっており、これらは、「貧困線以下の所得の世帯」でもおおむね同様の傾向となっています。

・平成28年度調査からの経年変化では、母親は、①小学校入学前児童調査、⑥－3青少年・若者調査〔保護者〕において、「～7時台」、「8時台」の割合が平成28年度調査よりも低くなり、「9時台」の割合が高くなっています。

【父親】

【平成30年調査】 単位：％	～7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時以降	不明・ 無回答
①小学校入学前児童調査 (N=3,015)	47.3	32.5	8.3	1.9	0.8	2.6	6.8
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=234)	38.0	29.9	13.2	3.8	1.7	8.1	5.1
【平成28年調査】 単位：％	～7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時以降	不明・ 無回答
乳幼児調査(N=3,013)	48.7	29.6	8.1	1.6	0.6	2.1	9.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=251)	38.6	24.3	15.5	2.8	1.6	5.6	11.6
【平成30年調査】 単位：％	～7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時以降	不明・ 無回答
②小学生児童調査 (N=2,866)	46.6	30.2	8.4	1.7	0.4	2.2	10.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=207)	37.7	25.1	14.0	4.3	1.4	3.9	13.5
【平成28年調査】 単位：％	～7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時以降	不明・ 無回答
小学生調査(N=2,460)	50.9	29.3	7.5	1.6	0.6	2.0	8.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=185)	43.8	23.8	13.5	4.3	1.6	4.3	8.6
【平成30年調査】 単位：％	～7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時以降	不明・ 無回答
⑥－3青少年・若者調査〔保護者〕 (N=498)	50.8	28.1	6.6	1.6	0.6	1.6	10.6
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=30)	46.7	13.3	6.7	0.0	0.0	3.3	30.0
【平成28年調査】 単位：％	～7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時以降	不明・ 無回答
中高生等調査(N=2,108)	54.6	27.4	6.5	1.7	0.5	2.0	7.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=168)	47.6	22.0	8.9	4.2	1.8	3.6	11.9

【母親】

【平成30年調査】 単位：％	～7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時以降	不明・ 無回答
①小学校入学前児童調査 (N=1,636)	17.7	43.9	24.1	5.2	0.9	2.1	6.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=191)	12.0	37.2	31.9	7.3	1.0	3.7	6.8
【平成28年調査】 単位：％	～7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時以降	不明・ 無回答
乳幼児調査(N=1,656)	19.0	45.5	20.4	6.0	1.0	2.1	6.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=213)	16.0	40.4	22.5	12.7	1.4	3.8	3.3
【平成30年調査】 単位：％	～7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時以降	不明・ 無回答
②小学生児童調査 (N=2,315)	9.2	46.0	26.7	6.8	1.1	2.6	7.7
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=323)	8.0	43.7	27.9	8.7	1.2	3.4	7.1
【平成28年調査】 単位：％	～7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時以降	不明・ 無回答
小学生調査(N=2,027)	11.7	45.5	26.8	6.9	1.1	2.5	5.6
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=291)	9.6	47.1	27.1	8.9	1.0	2.7	3.4
【平成30年調査】 単位：％	～7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時以降	不明・ 無回答
⑥-3青少年・若者調査〔保護者〕 (N=485)	8.7	40.6	27.8	8.7	1.9	3.9	8.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=62)	9.7	38.7	29.0	9.7	1.6	3.2	8.1
【平成28年調査】 単位：％	～7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時以降	不明・ 無回答
中高生等調査(N=2,003)	14.5	43.8	22.2	6.7	1.6	4.8	6.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=320)	14.7	44.1	22.5	5.9	2.2	5.3	5.3

ウ 帰宅時間

・全体では、父親は、①小学校入学前児童調査において「22時以降」、②小学生児童調査において「20時台」、⑥-3 青少年・若者調査〔保護者〕において「～19時台」の割合が最も高くなっており、母親は、①小学校入学前児童調査、⑥-3 青少年・若者調査〔保護者〕において「18時台」、②小学生児童調査において「15～16時台」の割合が最も高くなっています。

・④ひとり親家庭調査では、全体、「貧困線以下の所得の世帯」とともに、母親は「18時台」の割合が最も高くなっています。また、「18時台」以降の割合が他の調査と比較して高くなっています。

・「貧困線以下の所得の世帯」では、父親は、①小学校入学前児童調査、②小学生児童調査において「22時以降」が、⑥-3 青少年・若者調査〔保護者〕において「19時台」の割合が最も高くなっており、母親は、すべての調査において「18時台」の割合が最も高くなっています。

・平成28年度調査からの経年変化では、おおむね大きな違いは見られませんでした。

【父親】

【平成30年調査】 単位：％	～11時 台	12～14 時台	15～16 時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時 以降	不明・ 無回答
①小学校入学前児童調査 (N=3,015)	3.0	0.7	0.7	2.6	10.6	18.4	19.8	16.5	20.1	7.7
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=234)	6.0	1.3	1.3	5.6	14.1	18.8	12.8	11.5	22.2	6.4
【平成28年調査】 単位：％	～11時 台	12～14 時台	15～16 時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時 以降	不明・ 無回答
乳幼児調査(N=3,013)	0.1	0.3	0.9	3.3	10.9	17.4	18.8	17.6	20.7	10.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=251)	0.0	0.4	1.6	4.8	10.8	21.9	18.7	8.8	21.1	12.0
【平成30年調査】 単位：％	～11時 台	12～14 時台	15～16 時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時 以降	不明・ 無回答
②小学生児童調査(N=2,866)	2.2	0.5	0.7	2.8	11.9	16.1	19.7	15.8	19.1	11.2
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=207)	5.3	1.0	1.0	4.3	14.5	17.4	8.7	12.1	21.3	14.5
【平成28年調査】 単位：％	～11時 台	12～14 時台	15～16 時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時 以降	不明・ 無回答
小学生調査(N=2,460)	0.6	0.7	0.6	2.9	10.9	17.2	18.7	16.8	23.1	8.6
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=185)	0.0	1.1	0.5	6.5	17.8	17.8	16.2	9.2	21.6	9.2
【平成30年調査】 単位：％	～11時 台	12～14 時台	15～16 時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時 以降	不明・ 無回答
④ひとり親家庭調査(N=209)	20.1	1.2	0.8	2.2	10.2	17.1	12.9	11.0	13.5	11.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=19)	16.7	0.0	0.0	10.0	3.3	23.3	3.3	10.0	3.3	30.0
【平成30年調査】 単位：％	～11時 台	12～14 時台	15～16 時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時 以降	不明・ 無回答
⑥-3 青少年・若者調査〔保護者〕 (N=498)	1.6	1.0	0.8	2.4	12.7	20.5	18.9	14.1	17.1	11.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=30)	3.3	0.0	0.0	10.0	6.7	26.7	6.7	13.3	3.3	30.0
【平成28年調査】 単位：％	～11時 台	12～14 時台	15～16 時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時 以降	不明・ 無回答
中高生等調査(N=2,108)	0.1	0.8	1.0	3.9	11.7	20.2	19.8	14.4	20.3	7.6
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=168)	0.6	1.2	3.6	7.7	19.0	16.1	16.7	6.0	17.3	11.9

【母親】

【平成30年調査】 単位：％	～11時 台	12～14 時台	15～16 時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時 以降	不明・ 無回答
①小学校入学前児童調査 (N=1,636)	0.4	10.8	15.2	23.5	29.6	10.8	2.3	0.4	0.7	6.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=191)	1.0	5.8	22.5	22.0	28.3	8.4	2.6	1.0	1.6	6.8
【平成28年調査】 単位：％	～11時 台	12～14 時台	15～16 時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時 以降	不明・ 無回答
乳幼児調査(N=1,656)	0.2	6.8	17.0	24.6	29.8	10.3	2.6	1.1	1.2	6.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=213)	0.5	6.6	20.7	26.3	24.4	9.4	4.2	0.5	4.2	3.3
【平成30年調査】 単位：％	～11時 台	12～14 時台	15～16 時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時 以降	不明・ 無回答
②小学生児童調査(N=2,315)	1.2	14.7	21.9	17.4	21.3	10.3	2.7	1.4	1.1	8.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=323)	3.1	7.7	23.2	22.0	25.4	5.3	2.8	0.9	2.8	6.8
【平成28年調査】 単位：％	～11時 台	12～14 時台	15～16 時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時 以降	不明・ 無回答
小学生調査(N=2,027)	0.5	15.7	22.4	16.6	21.1	10.6	3.7	1.8	1.9	5.7
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=291)	0.3	7.2	24.1	16.5	25.4	12.4	5.2	1.4	3.8	3.8
【平成30年調査】 単位：％	～11時 台	12～14 時台	15～16 時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時 以降	不明・ 無回答
④ひとり親家庭調査(N=666)	0.9	2.3	8.1	19.8	30.5	14.7	7.8	3.3	1.7	11.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=160)	0.0	3.1	10.6	23.1	33.8	8.8	3.1	2.5	1.9	13.1
【平成28年調査】 単位：％	～11時 台	12～14 時台	15～16 時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時 以降	不明・ 無回答
(参考)ひとり親(母子)世帯全体 (N=745)	0.5	3.1	10.6	13.6	32.3	18.4	10.2	3.5	3.6	4.2
【平成30年調査】 単位：％	～11時 台	12～14 時台	15～16 時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時 以降	不明・ 無回答
⑥-3青少年・若者調査[保護者] (N=485)	0.0	10.5	19.0	12.8	22.7	14.8	6.8	2.7	1.4	9.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=62)	0.0	1.6	19.4	11.3	22.6	22.6	6.5	3.2	0.0	12.9
【平成28年調査】 単位：％	～11時 台	12～14 時台	15～16 時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時 以降	不明・ 無回答
中高生等調査(N=2,003)	0.5	11.6	16.7	16.0	23.2	13.6	7.0	2.2	2.7	6.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=320)	0.6	10.0	12.5	11.9	27.8	14.7	8.4	3.1	5.3	5.6

エ 1週当たりの就労時間

・全体では、父親、母親ともに、すべての調査において「40～50時間未満」が最も高くなっています。

・「貧困線以下の所得の世帯」では、父親は①小学校入学前児童調査、②小学生児童調査ともに「60時間以上」の割合が最も高くなっており、母では②小学生児童調査において「30～40時間未満」の割合が最も高くなっています。

・平成28年度調査からの経年変化では、父親は①小学校入学前児童調査において「60時間以上」、⑥-3青少年・若者調査〔保護者〕では「40～50時間未満」の割合が平成28年度調査よりも高くなっています。また、母親は⑥-3青少年・若者調査〔保護者〕において、「40～50時間未満」の割合が平成28年度調査よりも高くなっています。

【父親】

【平成30年調査】 単位：％	20時間未満	20～30時間 未満	30～40時間 未満	40～50時間 未満	50～60時間 未満	60時間以上	不明・ 無回答
①小学校入学前児童調査 (N=3,015)	0.4	0.5	1.7	36.7	20.3	32.0	8.6
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=234)	1.3	2.6	3.8	34.2	17.9	34.6	5.6
【平成28年調査】 単位：％	20時間未満	20～30時間 未満	30～40時間 未満	40～50時間 未満	50～60時間 未満	60時間以上	不明・ 無回答
乳幼児調査(N=3,013)	0.6	0.8	2.8	33.4	20.5	25.5	16.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=251)	0.8	2.8	2.8	33.9	17.9	25.5	16.3
【平成30年調査】 単位：％	20時間未満	20～30時間 未満	30～40時間 未満	40～50時間 未満	50～60時間 未満	60時間以上	不明・ 無回答
②小学生児童調査 (N=2,866)	0.2	0.4	1.3	34.7	19.3	32.1	12.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=207)	0.0	0.5	2.4	32.9	11.6	37.7	15.0
【平成28年調査】 単位：％	20時間未満	20～30時間 未満	30～40時間 未満	40～50時間 未満	50～60時間 未満	60時間以上	不明・ 無回答
小学生調査(N=2,460)	1.2	0.7	2.3	30.0	21.7	28.2	15.9
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=185)	2.2	1.6	2.7	26.5	9.2	37.8	20.0
【平成30年調査】 単位：％	20時間未満	20～30時間 未満	30～40時間 未満	40～50時間 未満	50～60時間 未満	60時間以上	不明・ 無回答
⑥-3青少年・若者調査〔保護者〕 (N=498)	0.8	0.4	2.4	43.2	18.7	24.1	10.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=30)	0.0	3.3	3.3	46.7	13.3	13.3	20.0
【平成28年調査】 単位：％	20時間未満	20～30時間 未満	30～40時間 未満	40～50時間 未満	50～60時間 未満	60時間以上	不明・ 無回答
中高生等調査(N=2,108)	0.4	0.7	3.6	36.0	18.6	26.7	13.9
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=168)	0.0	3.0	6.5	32.7	11.3	31.0	15.5

【母親】

【平成30年調査】 単位：％	20時間未満	20～30時間 未満	30～40時間 未満	40～50時間 未満	50～60時間 未満	60時間以上	不明・ 無回答
①小学校入学前児童調査 (N=1,636)	17.5	18.9	25.2	30.7	2.8	1.5	3.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=191)	12.0	24.1	25.1	29.8	3.1	2.6	3.1
【平成28年調査】 単位：％	20時間未満	20～30時間 未満	30～40時間 未満	40～50時間 未満	50～60時間 未満	60時間以上	不明・ 無回答
乳幼児調査(N=1,656)	13.6	18.8	27.1	26.9	3.6	2.1	7.9
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=213)	10.8	27.2	23.9	24.9	2.3	6.1	4.7
【平成30年調査】 単位：％	20時間未満	20～30時間 未満	30～40時間 未満	40～50時間 未満	50～60時間 未満	60時間以上	不明・ 無回答
②小学生児童調査 (N=2,315)	23.0	22.9	17.6	24.4	4.2	3.2	4.7
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=323)	16.1	22.6	25.4	22.3	3.4	3.7	6.5
【平成28年調査】 単位：％	20時間未満	20～30時間 未満	30～40時間 未満	40～50時間 未満	50～60時間 未満	60時間以上	不明・ 無回答
小学生調査(N=2,027)	24.6	21.3	18.2	22.6	4.0	2.4	6.8
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=291)	14.4	18.2	24.4	27.8	4.1	4.1	6.9
【平成30年調査】 単位：％	20時間未満	20～30時間 未満	30～40時間 未満	40～50時間 未満	50～60時間 未満	60時間以上	不明・ 無回答
⑥-3青少年・若者調査〔保護者〕 (N=485)	21.6	24.7	14.0	29.7	4.3	2.5	3.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=62)	4.8	21.0	17.7	46.8	3.2	1.6	4.8
【平成28年調査】 単位：％	20時間未満	20～30時間 未満	30～40時間 未満	40～50時間 未満	50～60時間 未満	60時間以上	不明・ 無回答
中高生等調査(N=2,003)	17.5	24.4	16.9	27.7	4.8	2.6	6.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=320)	11.9	23.1	18.4	30.6	3.8	5.6	6.6

3 子ども等の状況

(1) 子ども等の学力・学習等の状況

ア 学習塾や習い事の利用状況（SA）

《子どもを習い事や学習塾に通わせているか》

・全体では、①小学校入学前児童調査、②小学生児童調査、⑥－3 青少年・若者調査〔保護者〕において、「通わせている」の割合が高くなっている一方で、④ひとり親調査においては、「通わせている」と「通わせていない」の割合がほとんど同じとなっています。

・「貧困線以下の所得の世帯」では、「通わせていない」の割合が全体よりも高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	通わせている	通わせていない	不明・無回答
①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	49.3	42.1	8.6
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	41.6	49.3	9.1
②小学生児童調査 (N=3,202)	85.4	10.9	3.7
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	76.0	18.0	6.0

※①および②については「3. 習い事や塾」に回答があった方を「通わせている」としています

【参考】

■塾の利用状況

【平成28年調査】 単位：％	通わせている	通わせていない	不明・無回答
小学生調査(N=2,889)	30.9	65.8	3.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=379)	22.4	73.6	4.0

■習い事の利用状況

【平成28年調査】 単位：％	通わせている	通わせていない	不明・無回答
乳幼児調査(N=3,248)	25.0	73.2	1.8
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=360)	17.2	81.1	1.7
小学生調査(N=2,889)	74.0	24.0	2.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=379)	57.8	38.6	3.7

【平成30年調査】 単位：％	通わせている	通わせていない	不明・無回答
④ひとり親家庭調査(N=988)	44.6	45.5	9.8
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=218)	41.7	53.7	4.6

【平成28年調査】 単位：％	通わせている	通わせていない	不明・無回答
(参考)ひとり親世帯全体(N=825)	28.4	67.9	3.8

【平成28年調査】 単位：％	通わせている	通わせていない	不明・無回答
(参考)ひとり親世帯全体(N=985)	32.3	61.4	6.3

【平成30年調査】 単位：％	通わせている	通わせていない	不明・無回答
⑥-3青少年・若者調査[保護者] (N=610)	50.8	47.9	1.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=86)	34.9	64.0	1.2

※⑥-3については「学習塾」もしくは「習い事」で「1. 通わせている」に回答された方を「通わせている」としています。

《学習塾の利用状況（小学生，中学生，高校生の頃（「③家族・家庭生活調査」））》

「貧困線以下の所得の世帯」では、「通っていた」の割合が全体よりも低くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	通っていた	通っていなかった	不明・無回答
③家族・家庭生活調査(N=1,866)	72.1	27.6	0.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=209)	62.2	36.8	1.0

《子どもを塾や習い事に通わせていない理由》

全体では、「経済的に困難」の割合が最も高くなっており、これらは「貧困線以下の所得の世帯」でもおおむね同様の傾向となっています。

【平成30年調査】 単位：％	必要がない	時間の確保が困難	経済的に困難	その他	不明・無回答
④ひとり親家庭調査(N=450)	12.7	6.9	36.9	8.7	34.9
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=117)	10.3	6.0	41.9	8.5	33.3

《子どもに望む最終学歴別 習い事の利用状況》

- ・全体では、両調査ともに、「高校等」よりも「大学等」の方が「通わせている」の割合が高くなっています。
- ・平成28年度調査からの経年変化では、「大学等」の「通わせている」割合が、平成30年度調査の方が高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	通わせている	通わせていない	不明・無回答
④ひとり親家庭調査(N=988)	44.6	45.5	9.8
うち 子どもに望む最終学歴が 高等学校等(N=489)	34.2	56.4	9.4
うち 子どもに望む最終学歴が 大学等(N=731)	53.1	38.4	8.5
うち 子どもに望む最終学歴が 特にない・わからない(N=78)	34.6	52.6	12.8

【平成30年調査】 単位：％	通わせている	経済的な理由 で通わせていない	経済的な理由 以外で通わせていない	不明・無回答
⑥-3青少年・若者調査[保護者] (N=610)	38.9	15.1	43.9	2.1
うち 子どもに望む最終学歴が 高等学校等(N=100)	24.0	19.0	55.0	2.0
うち 子どもに望む最終学歴が 大学等(N=439)	44.4	13.0	40.8	1.8
うち 子どもに望む最終学歴が 特にない・わからない(N=57)	24.6	22.8	50.9	1.8

【平成28年調査】 単位：％	通わせている	経済的な理由 で通わせていない	経済的な理由 以外で通わせていない	不明・無回答
中高生等調査(N=2,642)	30.9	13.4	52.4	3.3
うち 子どもに望む最終学歴が 高等学校等(N=447)	16.1	25.2	52.6	6.1
うち 子どもに望む最終学歴が 大学等(N=1,891)	37.2	10.3	49.8	2.7
うち 子どもに望む最終学歴が 特にない・わからない(N=213)	14.4	13.3	70.7	1.5

イ 子どもの学校での勉強の成績（SA）

- ・全体では、すべての調査において、「普通」の割合が最も高くなっています。
- ・④ひとり親家庭調査では、全体、「貧困線以下の所得の世帯」とともに、「遅れている」（やや遅れている＋かなり遅れている）の割合が、他の調査よりも割合が高くなっています。
- ・「貧困線以下の所得の世帯」では、「遅れている」（やや遅れている＋かなり遅れている）の割合が全体よりも高くなっています。
- ・平成28年度調査からの経年変化では、おおむね大きな違いは見られませんでした。

【平成30年調査】 単位：％	成績良好	まあまあ良好	普通	やや遅れている	かなり遅れている	わからない	不明・無回答
②小学生児童調査 (N=3,202)	17.0	31.8	36.9	9.2	3.2	0.7	1.2
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	12.0	22.5	42.5	14.3	6.0	1.0	1.8
【平成28年調査】 単位：％	成績良好	まあまあ良好	普通	やや遅れている	かなり遅れている	わからない	不明・無回答
小学生調査(N=2,889)	17.5	32.8	38.0	7.3	2.5	1.7	0.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=379)	10.0	28.2	45.1	11.3	2.9	1.6	0.8
【平成30年調査】 単位：％	成績良好	まあまあ良好	普通	やや遅れている	かなり遅れている	わからない	不明・無回答
④ひとり親家庭調査(N=988)	9.7	20.5	34.8	18.4	11.2	1.1	4.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=218)	9.6	19.3	38.1	17.9	12.8	0.9	1.4
【平成28年調査】 単位：％	成績良好	まあまあ良好	普通	やや遅れている	かなり遅れている	わからない	不明・無回答
(参考)ひとり親世帯全体(N=814)	11.8	25.3	39.1	13.6	8.4	1.7	0.1
【平成30年調査】 単位：％	成績良好	まあまあ良好	普通	やや遅れている	かなり遅れている	わからない	不明・無回答
⑥～3青少年・若者調査[保護者] (N=610)	13.9	28.2	39.3	10.7	6.1	1.1	0.7
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=86)	16.3	22.1	39.5	12.8	8.1	1.2	0.0
【平成28年調査】 単位：％	成績良好	まあまあ良好	普通	やや遅れている	かなり遅れている	わからない	不明・無回答
中高生等調査(N=2,595)	15.3	27.2	39.2	11.4	5.7	1.0	3.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=406)	12.6	21.2	39.9	15.8	9.4	1.0	0.2

《学校での成績（過去も含む）》

「貧困線以下の所得の世帯」では、「遅れている」（やや遅れている＋かなり遅れている）の割合が全体よりも高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	成績良好	まあまあ良好	普通	やや遅れている	かなり遅れている	わからない	不明・無回答
③家族・家庭生活調査(N=1,866)	16.8	31.4	38.0	7.9	4.2	1.3	0.4
うち 貧困線以下の所得の世帯(N=209)	12.4	26.8	36.4	12.9	9.1	1.9	0.5

《子どもに勉強を教える頻度別 学校での勉強の成績の状況》

- ・②小学生児童調査の「めったにない」を除いて、「普通」の割合が最も高くなっています。
- ・平成28年度調査からの経年変化では、②小学生調査、⑥－3 青少年・若者調査〔保護者〕において、「良好」の割合が平成28年度よりも低くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	成績良好	まあまあ 良好	普通	やや遅れ ている	かなり遅れ ている	わからない	不明・ 無回答
②小学生児童調査(N=3,202)	17.0	31.9	36.9	9.2	3.2	0.7	1.2
うち ほぼ毎日(N=1,186)	20.3	31.3	35.3	8.3	3.0	0.8	1.0
うち 週に3～4日(N=646)	15.5	32.7	39.3	8.4	2.6	0.3	1.2
うち 週に1～2日(N=799)	14.0	32.3	38.9	10.5	2.8	0.6	0.9
うち 月に1～2日(N=247)	18.2	28.7	36.0	11.7	3.6	0.8	0.8
うち めったにない(N=245)	15.1	35.5	29.8	9.0	7.8	1.2	1.6

【平成28年調査】 単位：％	良好	普通	遅れている	分からない	不明・ 無回答
小学生調査(N=2,889)	50.3	38.0	9.8	1.7	0.3
うち よくある(N=1,245)	55.5	34.1	7.9	2.0	0.5
うち ときどきある(N=1,247)	47.2	41.0	10.7	1.0	0.2
うち あまりない(N=304)	43.8	43.1	10.9	2.0	0.3
うち ない(N=65)	40.0	32.3	20.0	7.7	0.0

【平成30年調査】 単位：％	成績良好	まあまあ 良好	普通	やや遅れ ている	かなり遅れ ている	わからない	不明・ 無回答
③家族・家庭生活調査(N=1,866)	16.8	31.4	38.0	7.9	4.2	1.3	0.4
うち ほぼ毎日(N=198)	21.2	27.3	36.9	6.1	6.1	2.5	0.0
うち 週に3～4日(N=272)	21.0	33.5	35.7	6.3	1.8	0.7	1.1
うち 週に1～2日(N=410)	17.3	36.6	37.8	5.1	1.5	1.2	0.5
うち 月に1～2日(N=192)	14.6	29.7	45.3	8.3	1.0	1.0	0.0
うち めったにない(N=780)	14.6	29.5	37.4	10.3	6.7	1.3	0.3

【平成30年調査】 単位：％	成績良好	まあまあ 良好	普通	やや遅れ ている	かなり遅れ ている	わからない	不明・ 無回答
④ひとり親家庭調査(N=988)	9.7	20.5	34.8	18.4	11.2	1.1	4.1
うち ほぼ毎日(N=101)	9.9	22.8	39.6	19.8	5.9	1.0	1.0
うち 週に3～4日(N=89)	11.2	22.5	38.2	16.9	9.0	1.1	1.1
うち 週に1～2日(N=146)	11.0	21.9	34.9	21.2	7.5	2.1	1.4
うち 月に1～2日(N=105)	9.5	21.9	44.8	13.3	9.5	0.0	1.0
うち めったにない(N=504)	9.3	20.8	32.9	19.8	15.1	1.2	0.8

【平成30年調査】 単位: %	成績良好	まあまあ 良好	普通	やや遅れ ている	かなり遅れ ている	わからない	不明・ 無回答
⑥-3青少年・若者調査[保護者] (N=610)	13.9	28.2	39.3	10.7	6.1	1.1	0.7
うち ほぼ毎日(N=125)	13.6	28.0	37.6	12.8	6.4	0.8	0.8
うち 週に3～4日(N=144)	13.2	33.3	36.8	11.1	4.2	1.4	0.0
うち 週に1～2日(N=146)	12.3	26.7	45.2	9.6	4.1	1.4	0.7
うち 月に1～2日(N=53)	18.9	24.5	39.6	11.3	3.8	0.0	1.9
うち めったにない(N=127)	15.7	26.0	37.8	8.7	11.0	0.8	0.0

【平成28年調査】 単位: %	良好	普通	遅れている	分からない	不明・ 無回答
中高生等調査(N=2,595)	42.5	39.2	17.0	1.0	0.3
うち よくある(N=161)	41.6	40.4	15.5	2.5	0.0
うち ときどきある(N=644)	41.5	40.4	17.5	0.6	0.0
うち あまりない(N=887)	45.7	38.1	15.2	0.7	0.3
うち ない(N=849)	39.7	39.9	18.8	1.2	0.4

《子育てにかかる時間の優先度別 学校での勉強の成績の状況×》

- ・②小学生児童調査、⑥-3 青少年・若者調査[保護者]において、「最も優先すべき」、「できるなら優先すべき」の場合、「成績良好」の割合が高くなっています。
- ・④ひとり親家庭調査において、「最も優先すべき」、「できるなら優先すべき」の場合、「かなり遅れている」の割合が低くなっています。

【平成30年調査】 単位: %	成績良好	まあまあ 良好	普通	やや遅れ ている	かなり遅れ ている	わからない	不明・ 無回答
②小学生児童調査(N=3,202)	17.0	31.9	36.9	9.2	3.2	0.7	1.2
うち 最も優先すべき(N=914)	22.5	32.4	33.4	7.0	3.0	0.3	1.4
うち できるなら優先すべき (N=2,203)	15.1	32.0	38.2	10.0	3.0	0.7	1.0
うち 他に優先すべきことが ある・わからない(N=61)	4.9	26.2	37.7	16.4	9.8	3.3	1.6

【平成28年調査】 単位: %	良好	普通	遅れている	分からない	不明・ 無回答
小学生調査(N=2,889)	50.3	38.0	9.8	1.7	0.3
うち 最も優先すべき(N=980)	56.1	34.5	7.2	1.7	0.4
うち できるなら優先すべき (N=1,807)	47.5	39.8	10.8	1.6	0.3
うち 他に優先すべきことが ある・わからない(N=73)	38.4	43.8	15.1	2.7	0.0

【平成30年調査】 単位：％	成績良好	まあまあ 良好	普通	やや遅れ ている	かなり遅れ ている	わからない	不明・ 無回答
④ひとり親家庭調査(N=988)	9.7	20.5	34.8	18.4	11.2	1.1	4.1
うち 最も優先すべき(N=309)	12.0	23.6	34.6	17.5	8.4	1.0	2.9
うち できるなら優先すべき (N=625)	8.8	19.8	35.8	18.9	12.3	1.0	3.4
うち 他に優先すべきことが ある・わからない(N=39)	11.6	19.4	29.8	21.4	15.7	0.5	1.7

【平成30年調査】 単位：％	成績良好	まあまあ 良好	普通	やや遅れ ている	かなり遅れ ている	わからない	不明・ 無回答
⑥-3青少年・若者調査[保護者] (N=610)	13.9	28.2	39.3	10.7	6.1	1.1	0.7
うち 最も優先すべき(N=197)	16.2	29.4	36.0	11.2	4.6	2.5	0.0
うち できるなら優先すべき (N=396)	12.9	27.8	40.7	10.6	6.6	0.5	1.0
うち 他に優先すべきことが ある・わからない(N=15)	6.7	26.7	46.7	6.7	13.3	0.0	0.0

【平成28年調査】 単位：％	良好	普通	遅れている	分らない	不明・ 無回答
中高生等調査(N=2,595)	42.5	39.2	17.0	1.0	0.3
うち 最も優先すべき(N=992)	45.9	39.4	13.8	0.7	0.2
うち できるなら優先すべき (N=1,496)	40.8	39.0	18.8	1.1	0.3
うち 他に優先すべきことが ある・わからない(N=54)	22.2	50.0	22.2	3.7	1.9

《子育てにかかるお金の優先度別 学校での勉強の成績の状況》

- ・②小学生児童調査, ⑥-3 青少年・若者調査[保護者]において、「最も優先すべき」の場合、「成績良好」の割合が高くなっています。
- ・④ひとり親家庭調査において、「最も優先すべき」、「できるなら優先すべき」の場合、「かなり遅れている」の割合が低くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	成績良好	まあまあ 良好	普通	やや遅れ ている	かなり遅れ ている	わからない	不明・ 無回答
②小学生児童調査(N=3,202)	17.0	31.9	36.9	9.2	3.2	0.7	1.2
うち 最も優先すべき(N=637)	22.8	33.1	32.2	8.8	2.4	0.3	0.5
うち できるなら優先すべき (N=2,327)	15.7	32.4	37.5	9.3	3.3	0.6	1.2
うち 他に優先すべきことが ある・わからない(N=212)	13.2	25.0	43.9	10.8	3.8	1.9	1.4

【平成30年調査】 単位：％	成績良好	まあまあ 良好	普通	やや遅れ ている	かなり遅れ ている	わからない	不明・ 無回答
④ひとり親家庭調査(N=988)	9.7	20.5	34.8	18.4	11.2	1.1	4.1
うち 最も優先すべき(N=314)	12.1	26.1	32.5	16.9	8.0	1.0	3.5
うち できるなら優先すべき (N=594)	8.8	19.4	36.7	19.5	11.4	1.2	3.0
うち 他に優先すべきことが ある・わからない(N=56)	11.4	11.4	20.0	25.7	28.6	0.0	2.9

【平成30年調査】 単位: %	成績良好	まあまあ 良好	普通	やや遅れ ている	かなり遅れ ている	わからない	不明・無 回答
⑥-3青少年・若者調査[保護者] (N=610)	13.9	28.2	39.3	10.7	6.1	1.1	0.7
うち 最も優先すべき(N=171)	15.8	32.2	36.3	9.4	5.3	1.2	0.0
うち できるなら優先すべき (N=409)	13.7	26.4	40.3	11.5	6.1	1.2	0.7
うち 他に優先すべきことが ある・わからない(N=25)	8.0	32.0	44.0	4.0	12.0	0.0	0.0

ウ 子どもの登校状況（SA）

・全体では、「ほぼ毎日登校している」の割合が最も高く、これらは、「貧困線以下の所得の世帯」でもおおむね同様の傾向となっています。

・平成28年度調査からの経年変化では、大きな違いは見られませんでした。が、「貧困線以下の所得の世帯」において、「ほぼ毎日登校している」の割合が平成28年調査よりも低くなっています。

【平成30年調査】 単位: %	ほぼ毎日登校して いる	病気やけが等で学 校を休みがちであ る	病気やけが等以外 の理由で学校を休 みがち(登校しな い、登校したくても できない)である	わからない	不明・無回答
⑥-3青少年・若者調査[保護者] (N=610)	95.1	0.7	3.6	0.5	0.2
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=86)	91.9	0.0	8.1	0.0	0.0

【平成28年調査】 単位: %	ほぼ毎日登校して いる	病気やけが等で学 校を休みがちであ る	病気やけが等以外 の理由で学校を休 みがち(登校しな い、登校したくても できない)である	わからない	不明・無回答
中高生等調査(N=2,595)	96.1	0.7	2.4	0.3	0.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=406)	95.3	0.7	2.7	0.5	0.7

(2) 子ども等の健康・生活習慣の状況

ア 朝食・夕食の頻度 (SA)

朝食

- ・全体では、すべての調査において、「ほぼ毎日」の割合が最も高くなっています。
- ・「貧困線以下の所得の世帯」では、④ひとり親家庭調査以外のすべての調査において「ほとんど食べない」の割合が全体よりも高くなっています。
- ・⑥-2 青少年・若者調査〔中高生以外〕では、全体、「貧困線以下の所得の世帯」のいずれにおいても「ほとんど食べない」の割合が他の調査よりも高くなっています。
- ・平成28年度調査からの経年変化では、おおむね大きな違いは見られませんでした。

【平成30年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に4～5 日	週に2～3 日	ほとんど食 べない	わからない	不明・ 無回答
①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	93.8	1.6	0.6	0.8	1.1	2.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	95.0	1.9	0.3	1.6	0.6	0.6
【平成28年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に4～5 日	週に2～3 日	ほとんど食 べない	わからない	不明・ 無回答
乳幼児調査(N=3,248)	94.5	1.4	0.7	1.1	0.3	2.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=360)	89.7	3.6	1.4	2.5	0.6	2.2
【平成30年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に4～5 日	週に2～3 日	ほとんど食 べない	わからない	不明・ 無回答
②小学生児童調査 (N=3,202)	95.5	1.3	1.2	0.9	0.1	1.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	94.5	1.5	1.5	1.3	0.3	1.0
【平成28年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に4～5 日	週に2～3 日	ほとんど食 べない	わからない	不明・ 無回答
小学生調査(N=2,889)	95.1	1.7	1.4	1.3	0.0	0.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=379)	91.6	3.2	3.2	1.6	0.0	0.5
【平成30年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に4～5 日	週に2～3 日	ほとんど食 べない	わからない	不明・ 無回答
④ひとり親家庭調査(N=1,272)	79.7	5.7	4.8	7.5	0.7	1.7
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=263)	84.8	6.8	3.8	3.8	0.4	0.4
【平成28年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に4～5 日	週に2～3 日	ほとんど食 べない	わからない	不明・ 無回答
(参考)ひとり親世帯全体 (N=985)	84.5	4.8	3.6	5.8	0.4	1.0
【平成30年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に4～5 日	週に2～3 日	ほとんど食 べない	わからない	不明・ 無回答
⑥-1青少年・若者調査〔中高生〕 (N=638)	79.0	6.6	5.2	7.4	0.5	1.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	71.3	11.5	4.6	8.0	1.1	3.4
【平成30年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に4～5 日	週に2～3 日	ほとんど食 べない	わからない	不明・ 無回答
⑥-2青少年・若者調査〔中高生以 外〕(N=755)	58.4	11.8	8.6	17.7	0.8	2.6
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=113)	47.8	11.5	8.0	30.1	0.9	1.8
【平成28年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に4～5 日	週に2～3 日	ほとんど食 べない	わからない	不明・ 無回答
中高生等調査(N=2,642)	86.4	4.3	2.9	5.2	0.3	0.9
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=411)	79.6	6.3	4.4	8.3	0.5	1.0

夕食

・全体では、すべての調査において、「ほぼ毎日」の割合が最も高くなっており、これらは、「貧困線以下の所得の世帯」でもおおむね同様の傾向となっています。

・⑥－1 青少年・若者調査〔中高生〕では、「貧困線以下の所得の世帯」において、また、⑥－2 青少年・若者調査〔中高生以外〕では、全体、「貧困線以下の所得の世帯」のいずれにおいても、「ほぼ毎日」の割合が他の調査よりも低くなっています。

・平成28年度調査からの経年変化では、おおむね大きな違いは見られませんでした。

【平成30年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に4～5 日	週に2～3 日	ほとんど食 べない	わからない	不明・ 無回答
①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	95.3	0.3	0.2	0.7	1.2	2.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	97.2	0.3	0.0	0.6	0.3	1.6
【平成28年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に4～5 日	週に2～3 日	ほとんど食 べない	わからない	不明・ 無回答
乳幼児調査(N=3,248)	96.3	0.3	0.2	5.0	0.4	2.2
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=360)	95.3	0.0	0.3	0.8	0.8	2.8
【平成30年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に4～5 日	週に2～3 日	ほとんど食 べない	わからない	不明・ 無回答
②小学生児童調査 (N=3,202)	98.1	0.3	0.4	0.1	0.0	1.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	98.0	0.8	0.0	0.3	0.0	1.0
【平成28年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に4～5 日	週に2～3 日	ほとんど食 べない	わからない	不明・ 無回答
小学生調査(N=2,889)	98.9	0.2	0.1	0.0	0.0	0.8
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=379)	98.2	0.5	0.0	0.0	0.0	1.3
【平成30年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に4～5 日	週に2～3 日	ほとんど食 べない	わからない	不明・ 無回答
④ひとり親家庭調査(N=1,272)	93.5	1.9	1.6	0.7	0.4	2.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=263)	95.8	1.5	1.5	0.4	0.4	0.4
【平成28年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に4～5 日	週に2～3 日	ほとんど食 べない	わからない	不明・ 無回答
(参考)ひとり親世帯全体 (N=985)	95.9	1.4	0.2	0.6	0.0	1.8
【平成30年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に4～5 日	週に2～3 日	ほとんど食 べない	わからない	不明・ 無回答
⑥－1青少年・若者調査〔中高生〕 (N=638)	93.4	2.2	0.6	0.3	0.3	3.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	86.2	3.4	3.4	1.1	0.0	5.7
【平成30年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に4～5 日	週に2～3 日	ほとんど食 べない	わからない	不明・ 無回答
⑥－2青少年・若者調査〔中高生以 外〕(N=755)	89.4	4.4	1.5	1.3	0.1	3.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=113)	87.6	4.4	1.8	2.7	0.9	2.7
【平成28年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に4～5 日	週に2～3 日	ほとんど食 べない	わからない	不明・ 無回答
中高生等調査(N=2,642)	96.8	1.2	0.3	0.2	0.1	1.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=411)	95.4	2.4	0.2	0.7	0.0	1.2

イ 朝食・夕食を一緒に食べる人 (MA)

朝食

・全体では、②小学生児童調査、⑥－２青少年・若者調査〔中高生以外〕を除くすべての調査において、「母親」の割合が最も高くなっており、これらは、「貧困線以下の所得の世帯」でもおおむね同様の傾向となっています。

・④ひとり親家庭調査では、「祖母」、「本人（お子様）のみ」の割合が他の調査よりも高くなっています。

・⑥－２青少年・若者調査〔中高生以外〕では、全体、「貧困線以下の所得の世帯」のいずれにおいても、「自分のみ」の割合が他の調査よりも高くなっています。

・平成２８年度調査からの経年変化では、④ひとり親家庭調査において、「本人（お子様）のみ」の割合が高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい (兄弟姉妹)	本人(お子 さま)のみ	その他	わからない	不明・ 無回答
①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	85.3	32.7	3.4	1.5	50.9	4.0	0.8	0.7	2.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	84.9	22.1	7.9	4.7	55.8	4.1	1.6	0.0	1.9
【平成28年調査】 単位：％	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい (兄弟姉妹)	本人(お子 さま)のみ	その他	わからない	不明・ 無回答
乳幼児調査(N=3,248)	88.7	33.2	5.2	2.7	39.8	2.6	0.6	0.2	2.2
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=360)	86.4	27.5	13.3	7.5	42.2	2.5	1.4	0.3	2.5
【平成30年調査】 単位：％	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい (兄弟姉妹)	本人(お子 さま)のみ	その他	わからない	不明・ 無回答
②小学生児童調査 (N=3,202)	71.4	29.3	3.3	1.6	72.1	7.5	0.2	0.0	1.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	72.5	16.5	6.3	3.0	69.5	8.8	0.5	0.0	1.0
【平成28年調査】 単位：％	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい (兄弟姉妹)	本人(お子 さま)のみ	その他	わからない	不明・ 無回答
小学生調査(N=2,889)	75.7	30.4	4.7	1.8	61.8	4.9	0.5	0.1	0.8
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=379)	72.0	14.8	10.3	2.6	57.0	5.0	1.1	0.0	1.3
【平成30年調査】 単位：％	母親	父親	祖母	祖父	兄弟姉妹	本人(お子 さま)のみ	その他	わからない	不明・ 無回答
④ひとり親家庭調査(N=1,272)	49.1	10.8	13.3	5.9	24.7	25.8	2.3	1.3	2.6
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=263)	52.9	5.7	15.2	4.6	31.6	26.2	1.5	0.8	1.1
【平成28年調査】 単位：％	母親	父親	祖母	祖父	兄弟姉妹	本人(お子 さま)のみ	その他	わからない	不明・ 無回答
(参考)ひとり親世帯全体 (N=985)	62.8	4.2	14.9	5.8	32.8	15.6	2.7	0.1	2.3

【平成30年調査】 単位：％	父親・母親	祖父・祖母	夫または妻	子ども	兄弟姉妹	友人
⑥-1青少年・若者調査[中高生] (N=638)	49.1	4.4	0.3	0.6	40.0	1.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	49.4	9.2	0.0	2.3	44.8	1.1
【平成30年調査】 単位：％	恋人	自分のみ	わからない	その他	不明・ 無回答	
⑥-1青少年・若者調査[中高生] (N=638)	0.0	36.1	1.4	3.1	2.4	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	0.0	26.4	1.1	1.1	5.7	
【平成30年調査】 単位：％	父親・母親	祖父・祖母	夫または妻	子ども	兄弟姉妹	友人
⑥-2青少年・若者調査[中高生以外] (N=755)	18.1	2.0	8.9	8.2	6.9	1.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=113)	27.4	2.7	3.5	7.1	9.7	3.5
【平成30年調査】 単位：％	恋人	自分のみ	わからない	その他	不明・ 無回答	
⑥-2青少年・若者調査[中高生以外] (N=755)	3.3	61.5	0.9	1.9	5.2	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=113)	4.4	56.6	2.7	1.8	6.2	
【平成28年調査】 単位：％	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい (兄弟姉妹)	
中高生等調査(N=2,642)	55.5	22.6	3.5	1.3	40.0	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=411)	58.9	14.1	5.6	1.9	35.8	
【平成28年調査】 単位：％	本人のみ	その他	わからない	不明・ 無回答		
中高生等調査(N=2,642)	22.1	1.5	0.2	0.2		
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=411)	23.4	1.7	0.2	3.2		

夕食

・全体では、⑥－２青少年・若者調査〔中高生以外〕を除くすべての調査において、「母親」（又は「母親・父親」）の割合が最も高くなっており、これらは、「貧困線以下の所得の世帯」でもおおむね同様の傾向となっていますが、⑥－２青少年・若者調査〔中高生以外〕の「貧困線以下の所得の世帯」において、「父親・母親」の割合が高くなっています。

・④ひとり親家庭調査では、「祖母」、「祖父」、「本人（お子様）のみ」の割合が他の調査よりも高くなっています。

・⑥－２青少年・若者調査〔中高生以外〕では、全体、「貧困線以下の所得の世帯」のいずれにおいても、「自分のみ」の割合が他の調査よりも高くなっています。

・平成２８年度調査からの経年変化では、④ひとり親家庭調査において、「本人（お子様）のみ」の割合が高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい （兄弟姉妹）	本人（お子 さま）のみ	その他	わからない	不明・ 無回答
①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	91.4	37.0	9.2	5.2	54.3	2.1	1.4	0.6	3.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	90.2	37.5	17.0	11.4	59.0	2.2	2.5	0.0	1.9
【平成28年調査】 単位：％	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい （兄弟姉妹）	本人（お子 さま）のみ	その他	わからない	不明・ 無回答
乳幼児調査(N=3,248)	92.8	35.8	9.8	5.8	42.2	2.0	1.3	0.2	2.6
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=360)	91.7	35.6	17.5	11.7	44.2	1.1	3.1	0.3	3.9
【平成30年調査】 単位：％	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい （兄弟姉妹）	本人（お子 さま）のみ	その他	わからない	不明・ 無回答
②小学生児童調査 (N=3,202)	91.9	39.2	9.6	5.5	75.9	2.4	1.3	0.0	1.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	89.5	30.0	16.8	10.3	73.0	3.3	3.0	0.0	1.0
【平成28年調査】 単位：％	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい （兄弟姉妹）	本人（お子 さま）のみ	その他	わからない	不明・ 無回答
小学生調査(N=2,889)	92.0	35.5	11.0	5.6	65.8	0.5	1.8	0.0	0.8
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=379)	87.6	27.4	18.5	6.9	60.4	0.0	2.9	0.0	1.3
【平成30年調査】 単位：％	母親	父親	祖母	祖父	兄弟姉妹	本人（お子 さま）のみ	その他	わからない	不明・無回 答
④ひとり親家庭調査(N=1,272)	63.7	14.4	22.9	13.2	30.7	11.3	4.7	0.2	2.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=263)	73.4	7.6	21.3	10.6	38.8	12.2	4.6	0.0	0.4
【平成28年調査】 単位：％	母親	父親	祖母	祖父	兄弟姉妹	本人（お子 さま）のみ	その他	わからない	不明・ 無回答
(参考)ひとり親世帯全体 (N=985)	76.5	6.5	24.9	12.9	39.6	3.7	4.9	0.2	2.5

【平成30年調査】 単位: %	父親・母親	祖父・祖母	夫または妻	子ども	兄弟姉妹	友人
⑥-1 青少年・若者調査[中高生] (N=638)	82.8	11.0	0.8	1.3	59.6	4.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	73.6	21.8	0.0	2.3	62.1	5.7
【平成30年調査】 単位: %	恋人	自分のみ	わからない	その他	不明・無回答	
⑥-1 青少年・若者調査[中高生] (N=638)	1.3	14.4	0.8	2.2	1.6	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	1.1	9.2	1.1	2.3	3.4	
【平成30年調査】 単位: %	父親・母親	祖父・祖母	夫または妻	子ども	兄弟姉妹	友人
⑥-2 青少年・若者調査[中高生以外] (N=755)	38.1	3.4	16.4	9.3	18.7	15.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=113)	49.6	2.7	3.5	7.1	23.0	14.2
【平成30年調査】 単位: %	恋人	自分のみ	わからない	その他	不明・無回答	
⑥-2 青少年・若者調査[中高生以外] (N=755)	10.5	39.2	0.4	2.4	2.8	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=113)	8.8	42.5	0.9	2.7	1.8	
【平成28年調査】 単位: %	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい (兄弟姉妹)	
中高生等調査(N=2,642)	83.5	36.9	8.8	4.2	54.1	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=411)	82.7	27.3	11.7	5.6	51.8	
【平成28年調査】 単位: %	本人のみ	その他	わからない	不明・無回答		
中高生等調査(N=2,642)	5.5	2.2	0.2	1.6		
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=411)	5.4	2.9	0.2	1.5		

《保護者等と一緒に食事をする機会の頻度（12歳の頃）》

全体では、「ほぼ毎日」の割合が最も高く、これらは、「貧困線以下の所得の世帯」でもおおむね同様の傾向となっており、大きな違いは見られませんでした。しかし、「ほぼ毎日」の割合が全体よりも低くなっています。

【平成30年調査】 単位: %	ほぼ毎日	週に3～4日	週に1～2日	月に1～2日	めったになかった	不明・無回答
③家族・家庭生活調査(N=1,866)	86.9	5.5	3.6	1.3	1.9	0.9
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=209)	83.3	5.7	3.3	1.9	4.3	1.4

ウ 子どもの夕食をつくる（料理（離乳食を含む。）する）頻度（SA）

・全体では、「ほぼ毎日」の割合が最も高く、これらは、「貧困線以下の所得の世帯」でもおおむね同様の傾向となっており、大きな違いは見られませんでした。

・④ひとり親家庭調査では、「ほぼ毎日」の割合が他の調査よりも低くなっています。

・平成28年度調査からの経年変化では、おおむね大きな違いは見られませんでした。

【平成30年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	月に数日 （休日など）	ほとんどつ くらない	まだ食べら れない（離乳 食前など）	不明・ 無回答
①小学校入学前児童調査 （N=3,191）	80.9	10.3	2.5	0.9	0.8	3.4	1.2
うち 貧困線以下の所得の世帯 （N=317）	85.8	7.6	1.9	1.3	1.6	0.9	0.9
【平成28年調査】 単位：％	ほとんど毎 日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	月に数日 （休日など）	ほとんどつ くらない	まだ食べら れない（離乳 食前など）	不明・ 無回答
乳幼児調査（N=3,248）	82.9	9.1	3.0	1.1	0.5	2.8	0.6
うち 貧困線以下の所得の世帯 （N=360）	82.5	9.2	3.1	0.8	1.1	2.8	0.6
【平成30年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	月に数日 （休日など）	ほとんどつ くらない	不明・ 無回答	
②小学生児童調査 （N=3,202）	83.9	10.3	2.8	1.5	0.5	1.0	
うち 貧困線以下の所得の世帯 （N=400）	81.5	9.8	4.3	3.0	0.5	1.0	
【平成28年調査】 単位：％	ほとんど毎 日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	月に数日 （休日など）	ほとんどつ くらない	まだ食べら れない（離乳 食前など）	不明・ 無回答
小学生調査（N=2,889）	85.6	9.6	2.2	1.0	0.8	0.0	0.8
うち 貧困線以下の所得の世帯 （N=379）	81.5	10.8	3.7	2.1	1.1	0.0	0.8
【平成30年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	月に数日 （休日など）	ほとんどつ くらない	まだ食べら れない（離乳 食前など）	不明・ 無回答
④ひとり親家庭調査（N=1,272）	66.4	13.4	7.4	5.1	4.6	0.2	3.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 （N=263）	72.6	13.7	4.9	3.4	4.6	0.0	0.8
【平成28年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	月に数日 （休日など）	ほとんどつ くらない	まだ食べら れない（離乳 食前など）	不明・ 無回答
（参考）ひとり親世帯全体 （N=985）	71.7	13.9	5.8	3.5	3.4	0.3	1.5

※「6. まだ食べられない（離乳食前など）」は①小学校入学前児童調査、④ひとり親家庭調査のみの選択肢

エ 平日の起床時間・就寝時間

・全体では、起床時間は、⑥－１青少年・若者調査〔中高生〕において「７時台」、⑥－２青少年・若者調査〔中高生以外〕において、「６時台」の割合が最も高くなっており、就寝時間は、両調査ともに「２４時以降」の割合が最も高くなっています。

・「貧困線以下の所得の世帯」では、起床時間は、⑥－２青少年・若者調査〔中高生以外〕において、「８時以降」の割合が全体よりも高くなっており、就寝時間は、⑥－１青少年・若者調査〔中高生〕において、「２４時以降」の割合が低くなっています。

起床時間

【平成30年調査】 単位：％	～５時台	６時台	７時台	８時以降	不明・ 無回答
⑥－１青少年・若者調査〔中高生〕 (N=638)	5.3	40.1	46.2	6.4	1.9
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	8.0	40.2	41.4	6.9	3.4
【平成30年調査】 単位：％	～５時台	６時台	７時台	８時以降	不明・ 無回答
⑥－２青少年・若者調査〔中高生以外〕 (N=755)	8.3	32.7	29.7	25.6	3.7
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=113)	7.1	15.0	29.2	45.1	3.5
【平成28年調査】 単位：％	～５時台	６時台	７時台	８時以降	不明・ 無回答
中高生等調査(N=2,642)	3.7	32.4	56.9	5.4	1.7
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=411)	3.9	32.1	54.7	7.3	1.9

就寝時間

【平成30年調査】 単位：％	20時台	21時台	22時台	23時台	24時以降	不明・ 無回答
⑥－１青少年・若者調査〔中高生〕 (N=638)	0.6	1.3	10.0	33.2	53.0	1.9
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	1.1	1.1	6.9	41.4	46.0	3.4
【平成30年調査】 単位：％	20時台	21時台	22時台	23時台	24時以降	不明・ 無回答
⑥－２青少年・若者調査〔中高生以外〕 (N=755)	0.1	2.5	6.9	22.9	63.8	3.7
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=113)	0.9	1.8	4.4	23.0	66.4	3.5
【平成28年調査】 単位：％	～20時台	21時台	22時台	23時台	24時以降	不明・ 無回答
中高生等調査(N=2,642)	0.3	1.4	13.9	40.1	42.1	2.2
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=411)	0.2	0.9	15.3	37.0	42.3	2.2

オ 平日のスマートフォンや携帯電話、タブレット端末（インターネット利用含む）の利用時間（SA）

- ・全体では、両調査ともに、「3時間以上」の割合が最も高くなっています。
- ・「貧困線以下の所得の世帯」では、両調査において、「3時間以上」の割合が全体よりも高くなっています。
- ・平成28年度調査からの経年変化では、両調査ともに、全体の「1～2時間未満」の割合が低くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	使わない・ 持っていない	1時間未満	1～2時間 未満	2～3時間 未満	3時間以上	わからない	不明・ 無回答
⑥-1青少年・若者調査[中高生] (N=638)	3.8	13.5	21.5	23.8	28.8	6.7	1.9
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	3.4	9.2	17.2	25.3	36.8	5.7	2.3
【平成30年調査】 単位：％	使わない・ 持っていない	1時間未満	1～2時間 未満	2～3時間 未満	3時間以上	わからない	不明・ 無回答
⑥-2青少年・若者調査[中高生以 外](N=755)	0.5	11.1	20.1	26.9	33.8	5.4	2.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=113)	0.9	7.1	12.4	23.0	47.8	8.0	0.9
【平成28年調査】 単位：％	見ない	1時間未満	1～2時間 未満	2～3時間 未満	3時間以上	わからない	不明・ 無回答
中高生等調査(N=2,642)	4.4	15.7	26.4	21.3	26.3	4.1	1.9
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=411)	4.4	11.2	19.2	20.9	35.0	7.1	2.2

カ 過去1年間の学校の授業、自宅以外での文化芸術活動・自然体験・スポーツ活動の頻度（SA）

※③家族・家庭生活調査では小学生、中学生、高校生の頃、⑥青少年・若者調査〔青少年〕では子ども（小学生）の時

文化芸術活動

- ・全体では、すべての調査において、「年数回以上」の割合が最も高くなっています。
- ・「貧困線以下の所得の世帯」では、すべての調査において、「まったくない」の割合が全体よりも高くなっています。
- ・平成28年度調査からの経年変化では、④ひとり親家庭調査以外の全ての調査において、全体、「貧困線以下の所得の世帯」の「まったくない」の割合が低くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	週1回以上	月1回以上	年数回以上	年1回程度	まったくない	わからない	不明・ 無回答
②小学生児童調査 (N=3,202)	9.3	8.7	46.9	18.5	10.7	2.4	3.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	5.5	7.5	38.8	23.5	17.5	4.3	3.0
【平成28年調査】 単位：％	週1回以上	月1回以上	年数回以上	年1回程度	まったくない	わからない	不明・ 無回答
小学生調査(N=2,889)	6.8	9.1	51.7	16.9	12.2	1.8	1.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=379)	5.3	9.0	42.2	16.9	22.4	2.9	1.3
【平成30年調査】 単位：％	週1回以上	月1回以上	年数回以上	年1回程度	まったくない	わからない	不明・ 無回答
③家族・家庭生活調査(N=1,866)	19.7	10.2	27.3	18.6	15.2	6.4	2.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=209)	16.7	11.5	23.9	21.1	16.7	5.3	4.8
【平成30年調査】 単位：％	週1回以上	月1回以上	年数回以上	年1回程度	まったくない	わからない	不明・ 無回答
④ひとり親家庭調査(N=988)	3.9	6.4	37.0	17.7	19.0	6.0	9.9
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=218)	4.1	5.5	39.9	17.4	22.5	6.0	4.6
【平成28年調査】 単位：％	週1回以上	月1回以上	年数回以上	年1回程度	まったくない	わからない	不明・ 無回答
(参考)ひとり親世帯全体 (N=825)	5.8	8.6	46.1	14.2	20.7	3.5	3.6
【平成30年調査】 単位：％	週1回以上	月1回以上	年数回以上	年1回程度	まったくない	わからない	不明・ 無回答
⑥-1青少年・若者調査〔中高生〕 (N=638)	11.4	16.5	36.8	14.4	2.8	4.5	13.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	4.6	12.6	39.1	20.7	4.6	5.7	12.6
【平成30年調査】 単位：％	週1回以上	月1回以上	年数回以上	年1回程度	まったくない	わからない	不明・ 無回答
⑥-2青少年・若者調査〔中高生以外〕 (N=755)	16.6	19.3	30.6	14.6	8.3	9.1	1.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=113)	18.6	15.9	30.1	16.8	9.7	8.0	0.9
【平成28年調査】 単位：％	週1回以上	月1回以上	年数回以上	年1回程度	まったくない	わからない	不明・ 無回答
中高生等調査(N=2,642)	4.7	8.1	46.7	16.4	17.2	3.8	3.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=411)	2.7	8.5	41.6	15.6	25.1	4.6	1.9

自然体験

- ・全体では、すべての調査において、「年数回以上」の割合が最も高くなっています。
- ・「貧困線以下の所得の世帯」では、すべての調査において、「まったくない」の割合が全体よりも高くなっており、「年数回以上」の割合が全体よりも低くなっています。
- ・平成28年度調査からの経年変化では、全ての調査において、全体、「貧困線以下の所得の世帯」の「まったくない」の割合が低くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	週1回以上	月1回以上	年数回以上	年1回程度	まったくない	わからない	不明・ 無回答
②小学生児童調査 (N=3,202)	1.6	12.4	54.5	19.0	7.9	1.1	3.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	2.5	10.3	44.0	24.0	14.8	2.3	2.3
【平成28年調査】 単位：％	週1回以上	月1回以上	年数回以上	年1回程度	まったくない	わからない	不明・ 無回答
小学生調査(N=2,889)	1.3	12.2	55.5	19.9	8.5	1.1	1.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=379)	1.6	9.5	49.9	19.8	15.6	2.1	1.6
【平成30年調査】 単位：％	週1回以上	月1回以上	年数回以上	年1回程度	まったくない	わからない	不明・ 無回答
③家族・家庭生活調査(N=1,866)	6.8	8.8	38.3	28.4	11.3	4.2	2.2
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=209)	6.2	7.2	34.9	30.1	12.9	5.3	3.3
【平成30年調査】 単位：％	週1回以上	月1回以上	年数回以上	年1回程度	まったくない	わからない	不明・ 無回答
④ひとり親家庭調査(N=988)	0.9	5.2	28.8	24.5	25.0	5.9	9.7
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=218)	1.4	6.0	26.6	27.5	28.9	5.0	4.6
【平成28年調査】 単位：％	週1回以上	月1回以上	年数回以上	年1回程度	まったくない	わからない	不明・ 無回答
(参考)ひとり親世帯全体 (N=825)	0.8	5.6	32.7	24.7	29.2	3.4	3.5
【平成30年調査】 単位：％	週1回以上	月1回以上	年数回以上	年1回程度	まったくない	わからない	不明・ 無回答
⑥-1青少年・若者調査[中高生] (N=638)	3.6	9.9	36.5	28.8	3.1	5.6	12.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	4.6	6.9	31.0	36.8	3.4	3.4	13.8
【平成30年調査】 単位：％	週1回以上	月1回以上	年数回以上	年1回程度	まったくない	わからない	不明・ 無回答
⑥-2青少年・若者調査[中高生以外] (N=755)	4.8	12.7	41.2	25.6	8.6	5.7	1.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=113)	5.3	16.8	28.3	33.6	8.8	6.2	0.9
【平成28年調査】 単位：％	週1回以上	月1回以上	年数回以上	年1回程度	まったくない	わからない	不明・ 無回答
中高生等調査(N=2,642)	0.5	2.5	27.7	29.9	31.4	4.5	3.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=411)	0.2	2.4	20.2	29.4	40.1	4.9	2.7

スポーツ活動

・全体では、④ひとり親家庭調査を除くすべての調査において、「週1回以上」の割合が最も高くなっています。

・「貧困線以下の所得の世帯」では、すべての調査において、「まったくない」の割合が全体よりも高くなっています。

・平成28年度調査からの経年変化では、全ての調査において、④ひとり親家庭調査の「週1回以上」の割合が低くなっているものの、おおむね大きな違いは見られませんでした。

【平成30年調査】 単位：％	週1回以上	月1回以上	年数回以上	年1回程度	まったくない	わからない	不明・ 無回答
②小学生児童調査 (N=3,202)	47.1	9.4	19.1	8.4	11.1	2.9	2.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	40.8	7.8	15.5	10.0	20.0	4.0	2.0
【平成28年調査】 単位：％	週1回以上	月1回以上	年数回以上	年1回程度	まったくない	わからない	不明・ 無回答
小学生調査(N=2,889)	45.4	10.3	18.9	6.9	12.6	3.5	2.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=379)	35.9	11.1	18.7	7.7	20.3	4.0	2.4
【平成30年調査】 単位：％	週1回以上	月1回以上	年数回以上	年1回程度	まったくない	わからない	不明・ 無回答
③家族・家庭生活調査(N=1,866)	43.2	9.1	15.9	9.7	15.7	4.9	1.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=209)	39.2	8.1	12.4	10.0	20.6	6.7	2.9
【平成30年調査】 単位：％	週1回以上	月1回以上	年数回以上	年1回程度	まったくない	わからない	不明・ 無回答
④ひとり親家庭調査(N=988)	21.9	6.3	18.7	12.6	25.5	7.0	8.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=218)	22.9	6.9	19.7	10.6	28.4	8.3	3.2
【平成28年調査】 単位：％	週1回以上	月1回以上	年数回以上	年1回程度	まったくない	わからない	不明・ 無回答
(参考)ひとり親世帯全体 (N=825)	31.4	7.2	16.7	8.2	26.3	6.3	3.9
【平成30年調査】 単位：％	週1回以上	月1回以上	年数回以上	年1回程度	まったくない	わからない	不明・ 無回答
⑥-1青少年・若者調査[中高生] (N=638)	49.2	9.4	11.1	6.3	2.4	6.3	15.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	43.7	9.2	9.2	8.0	5.7	8.0	16.1
【平成30年調査】 単位：％	週1回以上	月1回以上	年数回以上	年1回程度	まったくない	わからない	不明・ 無回答
⑥-2青少年・若者調査[中高生以外] (N=755)	47.9	11.4	14.3	7.7	10.3	6.8	1.6
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=113)	40.7	15.0	15.0	7.1	14.2	6.2	1.8
【平成28年調査】 単位：％	週1回以上	月1回以上	年数回以上	年1回程度	まったくない	わからない	不明・ 無回答
中高生等調査(N=2,642)	35.9	5.2	15.3	10.3	24.0	5.9	3.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=411)	32.8	4.6	14.1	8.8	31.6	6.3	1.7

キ 自己肯定感（SA）

《自己肯定感の状況》

・全体では、各項目は、「将来の明るい希望を話すことができる」、「自信を持って、行動したり人と関わることができる」、「目標に向かって努力することができる」において、おおむね「できる」、「どちらかというところ」の割合が高い傾向でしたが、⑥－1 青少年・若者調査〔中高生〕、⑥－②青少年・若者調査〔中高生以外〕において、他の調査よりも「あまりない」（どちらかというところできない）の割合が高い傾向にありました。また、自己肯定感の状況（全体）は、②小学生調査、④ひとり親家庭調査において、「高い」の割合が、⑥－1 青少年・若者調査〔中高生〕、⑥－②青少年・若者調査〔中高生以外〕において、「低い」の割合が高くなっており、「貧困線以下の所得の世帯」では、④ひとり親家庭調査を除くすべての調査において、「低い」の割合が高くなっています（なお、④ひとり親家庭調査では、「不明、無回答」の割合が3割近くを占めています）。

・平成28年度調査からの経年変化では、⑥－1 青少年・若者調査〔中高生〕、⑥－②青少年・若者調査〔中高生以外〕において、「高い」の割合が低く、「低い」の割合が高くなっています。

【自己肯定感の状況（全体）】

【平成30年調査】 単位：％	低い	高い	不明・ 無回答
②小学生児童調査(N=3,202)	26.5	68.1	5.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	28.0	64.0	8.0
【平成28年調査】 単位：％	低い	高い	不明・ 無回答
小学生調査(N=2,889)	28.9	70.3	0.8
【平成30年調査】 単位：％	低い	高い	不明・ 無回答
④ひとり親家庭調査(N=1,272)	26.3	42.4	31.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=263)	25.5	44.9	29.7
【平成30年調査】 単位：％	低い	高い	不明・ 無回答
⑥－1青少年・若者調査〔中高生〕 (N=638)	58.0	37.8	4.2
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	62.1	35.6	2.3
【平成30年調査】 単位：％	低い	高い	不明・ 無回答
⑥－2青少年・若者調査〔中高生以外〕 (N=755)	61.1	36.0	2.9
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=113)	73.5	23.9	2.7
【平成28年調査】 単位：％	低い	高い	不明・ 無回答
中高生等調査(N=2,642)	30.9	67.1	2.0

※自己肯定感の状況：「将来の明るい希望を話すことができる」、「自信を持って、行動したり人と関わることができる」、「目標に向かって努力することができる」について、すべてに「できる」または「どちらかというところ」と回答した人は「自己肯定感が高い」、いずれかで「どちらかというところできない」又は「できない」と回答した人は「自己肯定感が低い」としています。

①将来の明るい希望を話することができる

【平成30年調査】 単位：％	できる	どちらかとい うとできる	どちらかとい うとできない	できない	わからない	不明・ 無回答
⑦小学生児童調査 (N=3,202)	47.0	38.4	8.2	2.8	3.1	0.6
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	41.0	40.0	9.0	4.3	5.0	0.8
【平成28年調査】 単位：％	できる	どちらかとい うとできる	どちらかとい うとできない	できない	わからない	不明・ 無回答
小学生調査(N=2,889)	45.8	38.3	7.9	3.1	4.0	0.9
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=379)	40.6	40.9	10.6	2.9	4.0	1.1
【平成30年調査】 単位：％	できる	どちらかとい うとできる	どちらかとい うとできない	できない	わからない	不明・ 無回答
④ひとり親家庭調査(N=1,113)	29.0	30.8	12.2	7.0	3.0	18.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=230)	29.6	32.2	13.9	6.1	3.5	14.8
【平成28年調査】 単位：％	できる	どちらかとい うとできる	どちらかとい うとできない	できない	わからない	不明・ 無回答
(参考)ひとり親世帯全体 (N=825)	36.2	38.9	12.5	5.6	5.1	1.7
【平成30年調査】 単位：％	よくある	時々ある	あまりない	ほとんどな い	不明・ 無回答	
⑥-1青少年・若者調査[中高生] (N=638)	21.0	33.2	29.5	12.2	4.1	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	20.7	32.2	31.0	13.8	2.3	
【平成30年調査】 単位：％	よくある	時々ある	あまりない	ほとんどな い	不明・ 無回答	
⑥-2青少年・若者調査[中高生以 外](N=755)	16.8	34.8	30.7	14.8	2.8	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=113)	10.6	23.9	40.7	22.1	2.7	
【平成28年調査】 単位：％	できる	どちらかとい うとできる	どちらかとい うとできない	できない	わからない	不明・ 無回答
中高生等調査(N=2,642)	35.2	41.0	12.8	5.3	3.6	2.2
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=411)	36.7	35.5	15.1	7.1	4.4	1.2

②自信を持って、行動したり人と関わることができる

【平成30年調査】 単位：％	できる	どちらかとい うとできる	どちらかとい うとできない	できない	わからない	不明・ 無回答
②小学生児童調査 (N=3,202)	32.8	47.3	14.5	3.4	1.4	0.6
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	32.0	46.5	14.3	4.5	2.0	0.8

【平成28年調査】 単位：％	できる	どちらかとい うとできる	どちらかとい うとできない	できない	わからない	不明・ 無回答
小学生調査 (N=2,889)	29.9	49.0	14.2	4.2	1.7	0.9
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=379)	29.0	47.0	17.2	4.2	1.6	1.1

【平成30年調査】 単位：％	できる	どちらかとい うとできる	どちらかとい うとできない	できない	わからない	不明・ 無回答
④ひとり親家庭調査 (N=1,113)	25.1	33.3	14.6	6.9	2.2	18.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=230)	23.0	37.8	14.8	7.0	2.6	14.8

【平成28年調査】 単位：％	できる	どちらかとい うとできる	どちらかとい うとできない	できない	わからない	不明・ 無回答
(参考)ひとり親世帯全体 (N=825)	28.8	44.4	16.1	5.9	3.2	1.6

【平成30年調査】 単位：％	よくある	時々ある	あまりない	ほとんどな い	不明・ 無回答
⑥-1青少年・若者調査[中学生] (N=638)	18.2	39.0	30.1	8.6	4.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	18.4	34.5	34.5	10.3	2.3

【平成30年調査】 単位：％	よくある	時々ある	あまりない	ほとんどな い	不明・ 無回答
⑥-2青少年・若者調査[中学生以 外] (N=755)	15.5	39.5	33.4	9.1	2.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=113)	13.3	32.7	38.1	14.2	1.8

【平成28年調査】 単位：％	できる	どちらかとい うとできる	どちらかとい うとできない	できない	わからない	不明・ 無回答
中高生等調査 (N=2,642)	30.4	46.1	15.0	4.3	2.1	2.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=411)	31.6	43.6	15.1	5.8	2.9	1.0

③目標に向かって努力することができる

【平成30年調査】 単位：％	できる	どちらかとい うとできる	どちらかとい うとできない	できない	わからない	不明・ 無回答
②小学生児童調査 (N=3,202)	32.3	47.7	14.0	3.4	2.1	0.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	30.3	47.3	14.8	4.8	2.5	0.5
【平成28年調査】 単位：％	できる	どちらかとい うとできる	どちらかとい うとできない	できない	わからない	不明・ 無回答
小学生調査(N=2,889)	30.8	47.8	13.4	4.1	2.9	1.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=379)	28.5	44.3	17.2	5.5	3.4	1.1
【平成30年調査】 単位：％	できる	どちらかとい うとできる	どちらかとい うとできない	できない	わからない	不明・ 無回答
④ひとり親家庭調査(N=1,113)	24.4	32.4	15.0	7.3	3.1	17.8
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=230)	21.3	38.3	17.4	6.5	2.2	14.3
【平成28年調査】 単位：％	できる	どちらかとい うとできる	どちらかとい うとできない	できない	わからない	不明・ 無回答
(参考)ひとり親世帯全体 (N=825)	29.8	43.5	14.1	6.9	4.1	1.6
【平成30年調査】 単位：％	よくある	時々ある	あまりない	ほとんどな い	不明・ 無回答	
⑥-1青少年・若者調査[中高生] (N=638)	25.1	44.0	21.3	5.6	3.9	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	27.6	44.8	19.5	5.7	2.3	
【平成30年調査】 単位：％	よくある	時々ある	あまりない	ほとんどな い	不明・ 無回答	
⑥-2青少年・若者調査[中高生以 外](N=755)	21.3	45.3	24.1	6.6	2.6	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=113)	13.3	47.8	30.1	6.2	2.7	
【平成28年調査】 単位：％	できる	どちらかとい うとできる	どちらかとい うとできない	できない	わからない	不明・ 無回答
中高生等調査(N=2,642)	33.6	45.4	11.8	4.6	2.5	2.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=411)	33.6	42.6	12.7	6.6	3.6	1.0

《親と遊ぶ頻度別 自己肯定感の状況》※⑥-1 ⑥-2 は遊んでもらったか

すべての調査において、「ほぼ毎日」の場合、「月に1～2日・めったにない」よりも「自己肯定感が低い」割合が低く、「自己肯定感が高い」割合が高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	自己肯定感 が低い	自己肯定感 が高い	不明・ 無回答
②小学生児童調査(N=3,202)	26.5	68.1	5.5
うち ほぼ毎日(N=762)	22.3	72.7	5.0
うち 週に3～4日(N=516)	22.3	73.6	4.1
うち 週に1～2日(N=1,229)	29.0	66.9	4.1
うち 月に1～2日・めったにない(N=650)	30.3	60.6	9.1

【平成28年調査】 単位：％	自己肯定感 が低い	自己肯定感 が高い	不明・ 無回答
小学生調査(N=2,889)	28.9	70.3	0.8
うち ほぼ毎日(N=441)	20.4	79.4	0.2
うち 週に3～4日(N=516)	22.5	77.5	0.0
うち 週に1～2日(N=1,299)	30.8	69.1	0.1
うち 月に1～2日・めったにない(N=605)	36.9	63.0	0.2

【平成30年調査】 単位：％	自己肯定感 が低い	自己肯定感 が高い	不明・ 無回答
④ひとり親家庭調査(N=585)	25.1	42.1	32.8
うち ほぼ毎日(N=111)	15.3	34.2	50.5
うち 週に3～4日(N=63)	20.6	50.8	28.6
うち 週に1～2日(N=225)	27.1	44.9	28.0
うち 月に1～2日・めったにない(N=130)	39.2	46.2	14.6

【平成30年調査】 単位：％	自己肯定感 が低い	自己肯定感 が高い	不明・ 無回答
⑥-1青少年・若者調査[中高生] (N=638)	58.0	37.8	4.2
うち ほぼ毎日(N=216)	51.4	44.0	4.6
うち 週に3～4日(N=129)	51.9	45.7	2.3
うち 週に1～2日(N=174)	66.1	30.5	3.4
うち 月に1～2日・めったにない(N=99)	70.7	27.3	2.0

【平成30年調査】 単位：％	自己肯定感 が低い	自己肯定感 が高い	不明・ 無回答
⑥-2青少年・若者調査[中高生以外] (N=755)	61.1	36.0	2.9
うち ほぼ毎日(N=179)	52.0	43.6	4.5
うち 週に3～4日(N=138)	58.0	39.1	2.9
うち 週に1～2日(N=255)	58.8	39.2	2.0
うち 月に1～2日・めったにない(N=167)	77.2	21.6	1.2

《子どもと話す頻度別 自己肯定感の状況》

「ほぼ毎日」の場合、「月に1～2日・めったにない」よりも「自己肯定感が低い」割合が低く、「自己肯定感が高い」割合が高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	自己肯定 感が低い	自己肯定 感が高い	不明・ 無回答
⑥-1青少年・若者調査[中高生] (N=638)	58.0	37.8	4.2
うち ほぼ毎日(N=400)	56.8	39.5	3.8
うち 週に3～4日(N=116)	54.3	42.2	3.4
うち 週に1～2日(N=87)	62.1	31.0	6.9
うち 月に1～2日・めったにな い(N=33)	75.8	18.2	6.1

【平成28年調査】 単位：％	自己肯定 感が低い	自己肯定 感が高い	不明・ 無回答
中高生等調査(N=2,642)	30.9	67.1	2.0
うち ほぼ毎日(N=1,600)	24.2	75.7	0.1
うち 週に3～4日(N=493)	34.5	65.3	0.2
うち 週に1～2日(N=322)	48.1	51.6	0.3
うち 月に1～2日・めったにな い(N=161)	58.4	41.6	0.0

《子育てにかかる時間の優先度別 自己肯定感の状況》

両調査ともに、「最も優先すべき」の場合、「他に優先すべきことがある・わからない」よりも「自己肯定感が低い」割合が低く、「自己肯定感が高い」割合が高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	自己肯定 感が低い	自己肯定 感が高い	不明・ 無回答
②小学生児童調査(N=3,202)	26.5	68.1	5.5
うち 最も優先すべき(N=914)	21.3	74.3	4.4
うち できるなら優先すべき (N=2,203)	28.1	66.3	5.5
うち 他に優先すべきことが ある・わからない(N=61)	37.7	44.3	18.0

【平成30年調査】 単位：％	自己肯定 感が低い	自己肯定 感が高い	不明・ 無回答
④ひとり親家庭調査(N=1,272)	26.3	42.4	31.3
うち 最も優先すべき(N=404)	18.8	50.2	30.9
うち できるなら優先すべき (N=61)	29.5	40.3	30.2
うち 他に優先すべきことが ある・わからない(N=61)	43.4	32.1	24.5

《子育てにかかるお金の優先度別 自己肯定感の状況》

両調査ともに、「最も優先すべき」の場合、「他に優先すべきことがある・わからない」よりも「自己肯定感が低い」割合が低く、「自己肯定感が高い」割合が高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	自己肯定 感が低い	自己肯定 感が高い	不明・ 無回答
②小学生児童調査(N=1,272)	26.5	68.1	5.5
うち 最も優先すべき(N=1,272)	23.4	73.3	3.3
うち できるなら優先すべき (N=1,272)	27.2	67.3	5.5
うち 他に優先すべきことが ある・わからない(N=1,272)	28.3	61.3	10.4

【平成30年調査】 単位：％	自己肯定 感が低い	自己肯定 感が高い	不明・ 無回答
④ひとり親家庭調査(N=1,272)	26.3	42.4	31.3
うち 最も優先すべき(N=402)	22.1	48.3	29.6
うち できるなら優先すべき (N=757)	28.0	41.5	30.5
うち 他に優先すべきことが ある・わからない(N=76)	35.5	31.6	32.9

【参考】

子育てにかかる時間とお金の優先度別 自己肯定感の状況(平成28年度調査)

【平成28年調査】 単位：％	自己肯定 感が低い	自己肯定 感が高い	不明・ 無回答
小学生調査(N=2,889)	28.9	70.3	0.8
うち 最も優先すべき(N=980)	22.4	77.4	0.1
うち できるなら優先すべき (N=1,807)	32.2	67.7	0.1
うち 他に優先すべきことが ある・わからない(N=73)	39.7	60.3	0.0

《文化芸術活動の頻度別 自己肯定感の状況》

すべての調査において、「月1回以上」の場合、「まったくない・わからない」よりも「自己肯定感が低い」割合が低く、「自己肯定感が高い」割合が高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	自己肯定感 が低い	自己肯定感 が高い	不明・ 無回答
②小学生児童調査(N=3,202)	26.5	68.1	5.5
うち 月1回以上(N=578)	20.1	78.2	1.7
うち 年数回以上(N=1,503)	25.7	70.0	4.3
うち 年1回程度(N=593)	29.2	65.1	5.7
うち まったくない・わからない (N=421)	36.1	53.0	10.9

【平成28年調査】 単位：％	自己肯定感 が低い	自己肯定感 が高い	不明・ 無回答
小学生調査(N=2,889)	28.9	70.3	0.8
うち 月1回以上(N=458)	19.0	81.0	0.0
うち 年数回以上(N=1,494)	27.1	72.8	0.1
うち 年1回程度(N=488)	34.4	65.6	0.0
うち まったくない・わからない (N=406)	42.1	57.9	0.0

【平成30年調査】 単位：％	自己肯定感 が低い	自己肯定感 が高い	不明・ 無回答
④ひとり親家庭調査(N=988)	31.2	48.0	20.9
うち 月1回以上(N=102)	19.6	66.7	13.7
うち 年数回以上(N=366)	30.9	54.6	14.5
うち 年1回程度(N=175)	38.3	44.6	17.1
うち まったくない・わからない (N=247)	36.0	38.5	25.5

【平成30年調査】 単位：％	自己肯定感 が低い	自己肯定感 が高い	不明・ 無回答
⑥-1青少年・若者調査[中高生] (N=638)	58.0	37.8	4.2
うち 月1回以上(N=178)	51.7	44.4	3.9
うち 年数回以上(N=235)	57.4	37.9	4.7
うち 年1回程度(N=92)	63.0	34.8	2.2
うち まったくない・わからない (N=47)	72.3	23.4	4.3
【平成30年調査】 単位：％	自己肯定感 が低い	自己肯定感 が高い	不明・ 無回答
⑥-2青少年・若者調査[中高生以 外](N=755)	61.1	36.0	2.9
うち 月1回以上(N=271)	48.7	48.3	3.0
うち 年数回以上(N=231)	64.1	33.3	2.6
うち 年1回程度(N=110)	73.6	24.5	1.8
うち まったくない・わからない (N=132)	72.7	25.0	2.3
【平成28年調査】 単位：％	自己肯定感 が低い	自己肯定感 が高い	不明・ 無回答
中高生等調査(N=2,642)	67.1	30.9	2.0
うち 月1回以上(N=337)	76.6	23.4	0.0
うち 年数回以上(N=1,235)	73.5	26.3	0.2
うち 年1回程度(N=432)	63.0	37.0	0.0
うち まったくない・わからない (N=555)	56.0	43.8	0.2

《自然体験の頻度別 自己肯定感の状況》

すべての調査において、「月1回以上」の場合、「まったくない・わからない」よりも「自己肯定感が低い」割合が低く、「自己肯定感が高い」割合が高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	自己肯定感 が低い	自己肯定感 が高い	不明・ 無回答
②小学生児童調査(N=3,202)	26.5	68.1	5.5
うち 月1回以上(N=449)	23.2	73.9	2.9
うち 年数回以上(N=1,746)	25.4	70.6	4.1
うち 年1回程度(N=609)	28.9	64.2	6.9
うち まったくない・わからない (N=288)	35.1	54.5	10.4

【平成28年調査】 単位：％	自己肯定感 が低い	自己肯定感 が高い	不明・ 無回答
小学生調査(N=2,889)	28.9	70.3	0.8
うち 月1回以上(N=389)	25.7	74.3	0.0
うち 年数回以上(N=1,604)	25.9	74.1	0.0
うち 年1回程度(N=575)	33.9	65.9	0.2
うち まったくない・わからない (N=280)	43.6	56.4	0.0

【平成30年調査】 単位：％	自己肯定感 が低い	自己肯定感 が高い	不明・ 無回答
④ひとり親家庭調査(N=988)	31.2	48.0	20.9
うち 月1回以上(N=60)	15.0	70.0	15.0
うち 年数回以上(N=285)	31.2	56.1	12.6
うち 年1回程度(N=242)	32.6	49.2	18.2
うち まったくない・わからない (N=305)	37.7	39.0	23.3

【平成30年調査】 単位：％	自己肯定感 が低い	自己肯定感 が高い	不明・ 無回答
⑥-1青少年・若者調査[中高生] (N=638)	58.0	37.8	4.2
うち 月1回以上(N=86)	41.9	53.5	4.7
うち 年数回以上(N=233)	55.4	40.8	3.9
うち 年1回程度(N=184)	66.3	32.6	1.1
うち まったくない・わからない (N=56)	55.4	35.7	8.9
【平成30年調査】 単位：％	自己肯定感 が低い	自己肯定感 が高い	不明・ 無回答
⑥-2青少年・若者調査[中高生以 外](N=755)	61.1	36.0	2.9
うち 月1回以上(N=132)	49.2	45.5	5.3
うち 年数回以上(N=311)	55.9	41.8	2.3
うち 年1回程度(N=193)	71.5	26.4	2.1
うち まったくない・わからない (N=108)	75.0	24.1	0.9
【平成28年調査】 単位：％	自己肯定感 が低い	自己肯定感 が高い	不明・ 無回答
中高生等調査(N=2,642)	30.9	67.1	2.0
うち 月1回以上(N=78)	24.4	75.6	0.0
うち 年数回以上(N=733)	26.1	73.8	0.1
うち 年1回程度(N=791)	29.2	70.7	0.1
うち まったくない・わからない (N=948)	38.3	61.6	0.1

《スポーツ活動の頻度別 自己肯定感の状況》

すべての調査において、「月1回以上」の場合、「まったくない・わからない」よりも「自己肯定感が低い」割合が低く、「自己肯定感が高い」割合が高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	自己肯定感 が低い	自己肯定感 が高い	不明・ 無回答
②小学生児童調査(N=3,202)	26.5	68.1	5.5
うち 月1回以上(N=1,808)	23.2	73.0	3.8
うち 年数回以上(N=613)	24.6	71.3	4.1
うち 年1回程度(N=268)	32.8	61.6	5.6
うち まったくない・わからない (N=448)	38.2	50.4	11.4

【平成28年調査】 単位：％	自己肯定感 が低い	自己肯定感 が高い	不明・ 無回答
小学生調査(N=2,889)	28.9	70.3	0.8
うち 月1回以上(N=1,609)	23.7	76.3	0.0
うち 年数回以上(N=545)	30.3	69.7	0.0
うち 年1回程度(N=200)	35.5	64.5	0.0
うち まったくない・わからない (N=465)	44.3	55.7	0.0

【平成30年調査】 単位：％	自己肯定感 が低い	自己肯定感 が高い	不明・ 無回答
④ひとり親家庭調査(N=988)	31.2	48.0	20.9
うち 月1回以上(N=278)	26.6	57.9	15.5
うち 年数回以上(N=185)	30.3	54.6	15.1
うち 年1回程度(N=124)	37.9	46.0	16.1
うち まったくない・わからない (N=321)	37.1	38.9	24.0

【平成30年調査】 単位：％	自己肯定感 が低い	自己肯定感 が高い	不明・ 無回答
⑥-1青少年・若者調査[中高生] (N=638)	58.0	37.8	4.2
うち 月1回以上(N=374)	55.9	41.2	2.9
うち 年数回以上(N=71)	59.2	35.2	5.6
うち 年1回程度(N=40)	55.0	42.5	2.5
うち まったくない・わからない (N=55)	65.5	27.3	7.3
【平成30年調査】 単位：％	自己肯定感 が低い	自己肯定感 が高い	不明・ 無回答
⑥-2青少年・若者調査[中高生以 外](N=755)	61.1	36.0	2.9
うち 月1回以上(N=448)	55.6	41.3	3.1
うち 年数回以上(N=108)	69.4	27.8	2.8
うち 年1回程度(N=58)	60.3	37.9	1.7
うち まったくない・わからない (N=129)	75.2	23.3	1.6
【平成28年調査】 単位：％	自己肯定感 が低い	自己肯定感 が高い	不明・ 無回答
中高生等調査(N=2,642)	30.9	67.1	2.0
うち 月1回以上(N=1,086)	26.4	73.4	0.2
うち 年数回以上(N=404)	23.0	77.0	0.0
うち 年1回程度(N=273)	31.1	68.9	0.0
うち まったくない・わからない (N=790)	42.9	57.0	0.1

4 回答者の状況

(1) 回答者の健康状態

ア 現在の気持ちやからだの調子 (SA)

- ・全体では、すべての調査において、「心身ともに快調」の割合が最も高くなっています。
- ・④ひとり親家庭調査において、「心身ともに不調」の割合が他の調査よりも高くなっています。
- ・「貧困線以下の所得の世帯」では、③家族・家庭生活調査、⑤母子保健調査において、「心身ともに不調」の割合が全体よりも高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	心身ともに 快調	からだの調 子はよい が、精神的 に不調	精神的には よいが、から だが不調	心身ともに 不調	なんともい えない	不明・無 回答
③家族・家庭生活調査(N=1,866)	66.9	12.0	5.3	4.6	8.9	2.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=209)	52.2	17.7	9.1	7.2	11.0	2.9
④ひとり親家庭調査(N=1,272)	32.0	13.1	9.9	23.0	20.7	1.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=263)	30.4	14.1	8.7	23.2	22.8	0.8
⑤母子保健調査(N=1,327)	56.9	8.8	13.9	4.8	12.1	3.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=161)	57.1	13.0	10.6	8.1	11.2	0.0

イ ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間があるか (SA)

- ・全体では、「よくある」の割合が最も高くなっています。
- ・「貧困線以下の所得の世帯」では、「ほとんどない」の割合が全体よりも高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	よくある	時々ある	ほとんどない	不明・無 回答
⑤母子保健調査(N=1,327)	55.2	37.5	4.1	3.2
うち 貧困線以下の所得の 世帯(N=161)	53.4	31.7	9.3	5.6

(2) 子どもと遊ぶ頻度・子どもと話す頻度・勉強を教える頻度

ア 子どもと遊ぶ頻度 (SA)

・全体では、①小学校入学前児童調査において「ほぼ毎日」の割合が、②小学生児童調査、④ひとり親家庭調査において「週1～2日」の割合が最も高くなっており、これらは、「貧困線以下の所得の世帯」でもおおむね同様の傾向となっています。

・平成28年度調査からの経年変化では、①小学校入学前児童調査、②小学生児童調査において、「ほぼ毎日」の割合が平成28年度調査よりも高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に3～4 日	週に1～2 日	月に1～2 日	めったにな い	不明・ 無回答
①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	73.9	11.4	12.3	0.8	0.9	0.8
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	72.6	11.4	13.9	0.6	0.9	0.6
【平成28年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に3～4 日	週に1～2 日	月に1～2 日	めったにな い	不明・ 無回答
乳幼児調査(N=3,248)	65.5	13.9	17.9	1.8	0.5	0.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=360)	60.6	15.3	20.0	2.8	1.1	0.3
【平成30年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に3～4 日	週に1～2 日	月に1～2 日	めったにな い	不明・ 無回答
②小学生児童調査 (N=3,202)	23.8	16.1	38.4	12.3	8.0	1.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	24.3	13.5	38.5	12.3	10.8	0.8
【平成28年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に3～4 日	週に1～2 日	月に1～2 日	めったにな い	不明・ 無回答
小学生調査(N=2,889)	15.3	17.9	45.0	15.7	5.3	1.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=379)	13.5	17.4	42.5	17.7	7.9	1.1
【平成30年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に3～4 日	週に1～2 日	月に1～2 日	めったにな い	不明・ 無回答
④ひとり親家庭調査(N=585)	19.0	10.8	38.5	12.8	9.4	9.6
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=143)	18.9	9.8	37.1	16.8	9.8	7.7
【平成28年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に3～4 日	週に1～2 日	月に1～2 日	めったにな い	不明・ 無回答
(参考)ひとり親世帯全体 (N=825)	19.6	17.6	42.2	13.7	6.1	0.8

《親に遊んでもらったか（小学生の頃）》

全体では、③家族・家庭生活調査、⑥－2 青少年・若者調査〔中高生以外〕において、「週に1～2日」の割合が、⑥－1 青少年・若者調査〔中高生〕において、「ほぼ毎日」の割合が高くなっており、これらは、「貧困線以下の所得の世帯」においても、③家族・家庭生活調査を除いておおむね同様の傾向となっています。

【平成30年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に3～4 日	週に1～2 日	月に1～2 日	めったにな かった	不明・ 無回答
③家族・家庭生活調査(N=1,866)	8.9	6.7	30.1	21.5	31.2	1.6
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=209)	9.1	12.0	26.3	19.6	30.6	2.4
【平成30年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に3～4 日	週に1～2 日	月に1～2 日	めったにな かった	不明・ 無回答
⑥－1 青少年・若者調査〔中高生〕 (N=638)	33.9	20.2	27.3	6.9	8.6	3.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	39.1	18.4	23.0	8.0	10.3	1.1
【平成30年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に3～4 日	週に1～2 日	月に1～2 日	めったにな かった	不明・ 無回答
⑥－2 青少年・若者調査〔中高生以 外〕(N=755)	23.7	18.3	33.8	9.9	12.2	2.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=113)	23.0	17.7	31.0	11.5	14.2	2.7

イ 子どもと生活状況について話をする頻度（SA）

「貧困線以下の所得の世帯」では、「ほぼ毎日」の割合が全体よりも低くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に3～4 日	週に1～2 日	月に1～2 日	めったにな い	不明・無回 答
⑥－3 青少年・若者調査〔保護者〕 (N=638)	62.7	18.2	13.6	3.1	2.0	0.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	51.7	24.1	12.6	5.7	4.6	1.1
【平成28年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に3～4 日	週に1～2 日	月に1～2 日	めったにな い	不明・無回 答
中高生等調査(N=2,642)	60.6	18.7	12.2	3.6	2.5	2.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=411)	59.4	19.7	11.2	5.8	2.4	1.5

ウ 子どもに勉強を教える頻度（SA）

- ・全体では、②小学生児童調査において、「ほぼ毎日」の割合が、④ひとり親家庭調査において「めったにない」の割合が最も高くなっています。
- ・「貧困線以下の所得の世帯」では、②小学生児童調査において、「ほぼ毎日」の割合が全体よりも低くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に3～4 日	週に1～2 日	月に1～2 日	めったに ない	不明・ 無回答
②小学生児童調査 (N=3,202)	37.0	20.2	25.0	7.7	7.7	2.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	30.5	22.5	26.0	6.5	11.8	2.8
【平成28年調査】 単位：％	よくある	ときどきあ る	あまりない	ない	不明・ 無回答	
小学生調査(N=2,889)	43.1	43.2	10.5	2.2	1.0	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=379)	36.9	46.4	12.4	2.9	1.3	
【平成30年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に3～4 日	週に1～2 日	月に1～2 日	めったに ない	不明・ 無回答
④ひとり親家庭調査(N=988)	10.2	9.0	14.8	10.6	51.0	4.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=218)	14.7	10.6	16.5	9.6	46.8	1.8
【平成28年調査】 単位：％	よくある	ときどきあ る	あまりない	ない	不明・ 無回答	
(参考)ひとり親世帯全体 (N=825)	14.9	34.3	25.2	23.8	1.8	

《親に勉強を教えてもらったか（小学生の頃）》

- ・全体では、③家族・家庭生活調査、⑥－2 青少年・若者調査〔中高生以外〕において、「めったになかった」の割合が、⑥－1 青少年・若者調査〔中高生〕において、「週に1～2日」割合が最も高くなっており、「貧困線以下の所得の世帯」でも、⑥－1 青少年・若者調査〔中高生〕を除いておおむね同様の傾向となっています。

【平成30年調査】 単位：％	ほぼ毎日	週に3～4 日	週に1～2 日	月に1～2 日	めったにな かった	不明・ 無回答
③家族・家庭生活調査(N=1,866)	10.6	14.6	22.0	10.3	41.8	0.8
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=209)	14.4	12.9	18.2	11.5	41.1	1.9
⑥－1 青少年・若者調査〔中高生〕 (N=638)	20.7	23.0	24.1	8.3	21.3	2.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	14.9	25.3	25.3	9.2	25.3	0.0
⑥－2 青少年・若者調査〔中高生以 外〕(N=755)	12.2	19.3	22.9	9.5	34.0	2.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=113)	13.3	20.4	23.9	7.1	32.7	2.7

(3) 子どもに望む最終学歴，子育てにかかる時間やお金の優先度

ア 子どもの進学についての希望（④ひとり親家庭調査：MA，⑥－3青少年・若者調査〔保護者〕：SA）

- ・全体では，すべての調査において，「大学」の割合が最も高くなっています。
- ・「貧困線以下の所得の世帯」では，全体よりも「大学」の割合が低く，「高校」の割合が高くなっています。
- ・平成28年度調査からの経年変化では，おおむね大きな違いは見られませんでした。

【平成30年調査】 単位：％	中学校	高校	短大・高等専門 学校	大学	大学院
④ひとり親家庭調査(N=1,272)	0.7	16.6	15.1	65.8	7.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=263)	1.1	18.6	22.4	62.4	5.7
【平成30年調査】 単位：％	専修学校・各種 学校	特にない	わからない	その他	不明・無回答
④ひとり親家庭調査(N=1,272)	13.7	5.3	3.0	2.5	2.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=263)	18.3	5.7	3.0	5.3	1.1
【平成28年調査】 単位：％	高校	短大・高等専門 学校	大学	大学院	専修学校・各種 学校
(参考)ひとり親世帯全体 (N=985)	18.3	3.8	53.9	3.8	5.5
【平成28年調査】 単位：％	特にない	わからない	その他	不明・無回答	
(参考)ひとり親世帯全体 (N=985)	7.9	3.9	1.5	1.5	
【平成30年調査】 単位：％	高校	短大・高等専門 学校	大学	大学院	専修学校・各種 学校
⑥－3青少年・若者調査〔保護者〕 (N=610)	7.7	5.4	65.7	6.2	3.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=86)	15.1	7.0	52.3	7.0	4.7
【平成30年調査】 単位：％	特にない	わからない	その他	不明・無回答	
⑥－3青少年・若者調査〔保護者〕 (N=610)	6.4	3.0	1.0	1.3	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=86)	5.8	5.8	1.2	1.2	
【平成28年調査】 単位：％	高校	短大	大学	大学院	専修学校・各種 学校
中高生等調査(N=2,642)	9.0	2.7	65.5	6.1	5.2
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=411)	13.1	3.6	57.7	2.2	8.5
【平成28年調査】 単位：％	特にない	わからない	その他	不明・無回答	
中高生等調査(N=2,642)	5.8	2.2	1.2	2.3	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=411)	9.2	3.2	1.2	1.2	

イ 子育てにかかる時間の優先度（SA）

- ・全体では、「できるなら優先すべき」の割合が最も高くなっており、これらは、「貧困線以下の所得の世帯」でもおおむね同様の傾向となっており、大きな違いは見られませんでした。
- ・平成28年度調査からの経年変化では、おおむね大きな違いは見られませんでした。

【平成30年調査】 単位：％	最も優先すべき	できるなら 優先すべき	他に優先すべきことがある	わからない	不明・ 無回答
①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	34.8	64.1	0.3	0.5	0.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	33.1	65.9	0.3	0.3	0.3
②小学生児童調査 (N=3,202)	28.5	68.8	1.2	0.7	0.7
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	27.0	69.3	3.0	0.5	0.3
④ひとり親家庭調査(N=1,272)	31.8	61.8	2.0	2.2	2.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=263)	30.8	64.3	1.5	2.3	1.1
⑥-3青少年・若者調査[保護者] (N=638)	32.1	65.0	1.6	0.9	0.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	31.0	65.5	1.1	1.1	1.1

ウ 子育てにかかるお金の優先度（SA）

- ・全体では、「できるなら優先すべき」の割合が最も高くなっており、これらは、「貧困線以下の所得の世帯」でもおおむね同様の傾向となっています。
- ・「子育てにかかる時間の優先度」と比較して、④ひとり親家庭調査を除いたすべての調査において、「最も優先すべき」の割合が低くなっています。
- ・平成28年度調査からの経年変化では、おおむね大きな違いは見られませんでした。

【平成30年調査】 単位：％	最も優先すべき	できるなら 優先すべき	他に優先すべきことがある	わからない	不明・ 無回答
①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	22.0	71.4	4.1	2.0	0.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	25.2	66.2	6.6	1.9	0.0
②小学生児童調査 (N=3,202)	19.9	72.7	4.7	2.0	0.8
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	19.0	70.0	7.8	2.8	0.5
④ひとり親家庭調査(N=1,272)	31.6	59.5	3.5	2.4	2.9
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=263)	26.2	63.5	6.1	1.9	2.3
⑥-3青少年・若者調査[保護者] (N=638)	27.6	67.2	3.4	0.8	0.9
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	31.0	59.8	6.9	1.1	1.1

【参考】

子育てにかかる時間とお金の優先度(平成28年度調査)

【平成28年調査】 単位：％	最も優先すべき	できるなら 優先すべき	他に優先すべきことがある	わからない	不明・ 無回答
乳幼児調査(N=3,248)	36.9	60.4	1.0	1.5	0.2
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=360)	34.7	60.8	2.2	1.9	0.3
【平成28年調査】 単位：％	最も優先すべき	できるなら 優先すべき	他に優先すべきことがある	わからない	不明・ 無回答
小学生調査(N=2,889)	33.9	62.5	1.4	1.1	1.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=379)	32.2	63.3	1.8	1.6	1.1
【平成28年調査】 単位：％	最も優先すべき	できるなら 優先すべき	他に優先すべきことがある	わからない	不明・ 無回答
(参考)ひとり親世帯全体 (N=985)	35.0	59.2	2.6	1.5	1.6
【平成28年調査】 単位：％	最も優先すべき	できるなら 優先すべき	他に優先すべきことがある	わからない	不明・ 無回答
中高生等調査(N=2,642)	38.0	57.5	1.1	1.0	2.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=411)	36.7	60.1	1.9	0.2	1.0

(4) 相談相手の状況

ア 子育てについて日頃気になることの相談相手・相談先 (MA)

・全体では、①小学校入学前児童調査、②小学生児童調査において「配偶者・パートナー」の割合が最も高くなっています。

・「貧困線以下の所得の世帯」では、①小学校入学前児童調査において「祖父母等の親族」の割合が、②小学生児童調査において、「配偶者・パートナー」の割合が低くなっています。また、両調査ともに、「相談相手がいない」の割合が高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	保健福祉センター子どもはぐみ室	児童福祉センター	子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)	児童館	宛名のお子さまやその兄弟姉妹が通っている学校・幼稚園・保育施設等	こどもみらい館	民生委員・児童委員、主任児童委員
①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	8.4	2.7	1.5	3.6	33.1	0.5	0.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	8.8	3.5	1.3	4.4	36.0	0.6	0.0
【平成30年調査】 単位：％	医療機関	配偶者・パートナー	祖父母等の親族	友人や近隣の住民	職場の同僚	子育てサークル等の仲間	
①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	10.2	72.6	56.9	43.4	14.6	1.8	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	10.4	54.3	56.8	46.4	18.3	1.9	
【平成30年調査】 単位：％	幼稚園・保育施設等や学校の保護者仲間	電話相談機関	インターネットの相談・質問サイト	その他	相談相手がいない	不明・無回答	
①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	21.8	0.3	4.0	1.5	1.4	0.9	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	18.6	0.3	5.0	1.3	2.8	0.6	
【平成30年調査】 単位：％	保健福祉センター子どもはぐみ室	児童福祉センター	子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)	児童館	宛名のお子さまやその兄弟姉妹が通っている学校・幼稚園・保育施設等	こどもみらい館	民生委員・児童委員、主任児童委員
②小学生児童調査 (N=3,202)	0.4	3.1	0.2	3.7	27.1	0.1	0.2
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	0.8	4.5	0.3	3.8	32.8	0.3	1.0
【平成30年調査】 単位：％	医療機関	配偶者・パートナー	祖父母等の親族	友人や近隣の住民	職場の同僚	子育てサークル等の仲間	
②小学生児童調査 (N=3,202)	6.3	73.4	56.6	54.1	20.4	0.8	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	7.8	46.3	55.8	57.5	22.3	0.5	
【平成30年調査】 単位：％	幼稚園・保育施設等や学校の保護者仲間	電話相談機関	インターネットの相談・質問サイト	その他	相談相手がいない	不明・無回答	
②小学生児童調査 (N=3,202)	21.5	0.2	2.1	2.4	1.8	1.2	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	18.5	0.3	1.8	4.0	3.5	1.3	

【困った問題が起きた場合、誰に相談したか】

【平成30年調査】 単位：％	自分で解決	自分の子ども に相談	両親・親戚な どに相談	友人・知人に 相談	近所の人に相 談	民生委員・児 童委員に相談
④ひとり親家庭調査(N=1,272)	56.0	23.6	45.6	37.0	2.0	1.7
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=263)	54.4	24.0	51.3	43.0	2.3	2.7
【平成30年調査】 単位：％	職場の上司・ 同僚に相談	公的な機関に 相談	前の配偶者に 相談	その他	相談相手がい ない、方法が わからない	不明・無回答
④ひとり親家庭調査(N=1,272)	12.1	8.6	3.2	2.6	3.7	5.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=263)	11.8	11.8	4.2	2.7	2.7	0.4

【悩みごとなどを相談したことがある公の期間等】

【平成30年調査】 単位：％	民生委員・児 童委員・主任 児童委員	市政協力委員 や町内会長な ど	市会議員・府 議会議員	保健福祉セン ター子どもは ぐくみ室	児童福祉セン ター（児童相 談所・発達相 談所）	京都市ひとり 親家庭支援セ ンター（ゆめあ す）	市民相談・区 民相談	京都市男女共 同参画セン ター（ウイング ス京都）
④ひとり親家庭調査(N=1,272)	4.1	0.3	1.0	9.1	15.0	8.3	5.5	1.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=263)	4.6	0.4	0.4	13.3	14.8	10.3	5.7	1.9
【平成30年調査】 単位：％	京都市男女共 同参画セン ター（らら京 都）	公共職業安定 所（ハロー ワーク）	マザーズハ ローワーク烏 丸御池	マザーズジョ ブカフェ（京 都テルサ内）	交通事故相談 所	家庭裁判所	警察署	
④ひとり親家庭調査(N=1,272)	0.6	6.5	5.7	6.5	0.2	7.2	5.3	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=263)	0.4	11.0	7.6	10.6	0.8	6.5	4.9	
【平成30年調査】 単位：％	保育園（所）・ 認定こども 園・幼稚園	児童館	学校	弁護士会の法 律相談セン ター	日本司法支援 センター（法テ ラス）	その他	不明・無回答	
④ひとり親家庭調査(N=1,272)	15.3	6.9	18.9	10.1	7.1	5.9	42.4	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=263)	22.1	11.0	20.9	9.5	10.3	7.2	33.8	

【参考】

相談相手の状況(平成28年度調査)

【平成28年調査】 単位: %	夫・妻	親・親族	子ども	友人・知人	隣人・地域の 人	幼稚園・保育 園(所)の先生	学校の先生
乳幼児調査(N=3,031)	83.9	81.6	3.2	62.0	9.0	24.4	1.6
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=319)	63.0	85.0	5.6	60.2	11.6	23.2	2.2
小学生調査(N=2,530)	74.8	69.3	16.3	66.6	8.6	4.3	14.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=308)	44.5	71.1	21.1	71.1	11.0	4.5	15.3
(参考)ひとり親世帯全体 (N=737)	1.9	70.5	25.0	75.8	4.5	4.3	11.2
【平成28年調査】 単位: %	カウンセラー などの専門家	民生委員・児 童委員	公的な相談機 関	民間団体やボ ランティア	その他	不明・無回答	
乳幼児調査(N=3,031)	1.3	1.1	1.8	0.5	1.5	0.2	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=319)	1.3	1.6	1.9	0.3	2.2	0.0	
小学生調査(N=2,530)	2.9	0.3	1.7	0.3	1.7	0.1	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=308)	2.9	0.3	2.6	0.3	1.0	0.0	
(参考)ひとり親世帯全体 (N=737)	4.5	0.4	3.5	0.4	3.2	0.1	

イ 日頃、お子さまを預けられる人の有無（MA）

・全体では、両調査ともに、「緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」の割合が最も高くなっています。

・「貧困線以下の所得の世帯」では、両調査ともに、「日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」の割合が高く、「緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」の割合が低くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる	緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる	日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる	緊急時等に子どもを預けられる友人・知人がいる	いずれもない	不明・無回答
①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	14.9	63.1	0.8	11.6	20.2	4.8
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	18.6	57.7	0.6	12.9	21.8	4.4
②小学生児童調査 (N=3,202)	16.8	53.7	1.9	18.3	19.1	9.2
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	22.5	48.0	2.5	14.8	20.3	9.0

(5) 悩んでいること

ア 子育てをしている今の気持ち (SA)

- ・全体では、両調査ともに、「楽しい」の割合が最も高くなっています。
- ・「貧困線以下の所得の世帯」では、②小学生児童調査において、「楽しい」の割合が低く、「とても不安または負担を感じる」の割合が高くなっています。

【平成30年調査】 単位: %	とても楽しい	楽しい	少し不安または負担を感じる	とても不安または負担を感じる	どちらともいえない	不明・無回答
①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	27.7	40.6	21.8	3.4	4.9	1.6
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	26.2	40.7	22.7	4.4	4.4	1.6
②小学生児童調査 (N=3,202)	18.1	40.1	26.2	5.1	9.1	1.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	19.0	32.5	26.3	10.5	9.8	2.0

イ 日頃、不安に感じていること (SA)

- ・全体では、「不安である（「少し不安である」と「不安である」の合計）」は、①小学校入学前児童調査、②小学生児童調査ともに「③子どもの教育費」が最も高く、次いで、①小学校入学前児童調査では「子どもの将来」、②小学生児童調査では「子どもを遊ばせることができる場所」となっています。
- ・「貧困線以下の所得の世帯」では、両調査ともに、全体よりも「子どもの教育費」の割合が高くなっています。

【小学校入学前児童】

【平成30年調査】 単位: %		不安ではない	あまり不安ではない	どちらともいえない	少し不安である	不安である	不明・無回答
①子どものしつけ	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	12.4	24.8	20.2	34.4	7.6	0.7
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	13.2	25.2	17.0	36.0	8.2	0.3
②子どもの教育	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	12.5	27.3	21.3	31.7	6.6	0.7
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	14.2	25.9	18.9	34.1	6.6	0.3
③子どもの教育費	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	7.8	15.9	19.8	33.1	22.8	0.7
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	6.0	7.6	15.5	34.1	36.6	0.3
④子どもの遊び	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	21.9	39.0	19.8	15.7	2.6	0.9
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	22.7	39.7	17.4	15.8	2.8	1.6
⑤子どもを遊ばせることができる場所	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	14.2	28.0	20.5	27.9	8.8	0.7
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	15.8	27.8	19.9	23.7	12.0	0.9
⑥子どもの友達付き合い	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	14.8	30.1	24.5	23.7	6.1	0.8
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	17.4	26.8	26.2	22.7	6.3	0.6
⑦子どもを預けられる施設や条件	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	16.1	26.4	25.8	21.5	9.5	0.8
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	19.6	28.1	24.9	17.7	8.8	0.9

【平成30年調査】 単位: %		不安ではない	あまり不安ではない	どちらともいえない	少し不安である	不安である	不明・無回答
⑧子どもの食事や栄養	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	18.8	31.7	16.3	26.7	5.7	0.8
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	19.9	30.9	15.1	26.5	6.9	0.6
⑨子どもの病気や発育	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	18.1	31.4	18.7	23.4	7.7	0.6
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	20.5	27.4	19.6	23.0	8.8	0.6
⑩子どもの医療費	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	16.0	30.8	22.4	20.0	10.1	0.6
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	14.8	24.9	21.5	20.5	17.4	0.9
⑪子どもの将来	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	7.8	19.8	28.4	30.9	12.3	0.8
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	7.6	17.4	28.1	30.3	15.8	0.9
⑫子どもと接する時間	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	20.9	32.4	20.4	20.9	4.6	0.8
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	18.3	30.9	25.6	20.2	3.8	1.3
⑬家族の中での子育て観	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	22.8	38.3	23.6	11.6	2.5	1.1
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	20.5	36.0	25.2	12.9	3.2	2.2
⑭配偶者の子育てへの協力	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	27.8	31.8	18.8	12.3	6.8	2.5
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	19.9	24.0	19.9	16.4	9.1	10.7
⑮子育てに対する自信	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	9.0	23.4	34.9	23.9	8.0	0.8
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	8.5	24.3	35.0	22.4	8.5	1.3
⑯育児書どおりにならない	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	36.6	28.6	24.6	6.1	2.9	1.3
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	35.6	30.0	22.4	6.6	3.5	1.9
⑰子育てと自分の生きがいや仕事との関係	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	14.7	24.3	27.3	24.0	8.7	1.0
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	16.1	23.7	24.6	22.7	10.7	2.2
⑱自分の話し相手や相談相手	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	27.3	36.2	19.4	12.1	4.0	1.0
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	28.4	31.5	19.9	12.6	6.3	1.3
⑲自分の時間、心のゆとり	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	10.8	23.4	24.3	27.5	13.1	0.9
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	12.9	22.7	26.2	24.6	12.3	1.3
⑳自分の健康	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	13.7	24.6	24.9	26.4	9.4	0.9
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	16.1	20.2	23.0	29.0	11.0	0.6
㉑その他	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	1.0	0.4	1.6	0.3	1.6	95.0
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	0.6	0.3	0.6	0.6	4.1	93.7

【小学生児童】

【平成30年調査】 単位: %		不安ではない	あまり不安ではない	どちらともいえない	少し不安である	不安である	不明・無回答
①子どものしつけ	②小学生児童調査 (N=3,202)	13.1	30.0	18.7	30.2	7.3	0.7
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	14.0	27.8	18.0	29.0	10.5	0.8
②子どもの教育	②小学生児童調査 (N=3,202)	10.3	26.8	20.6	31.8	9.9	0.6
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	10.3	19.8	23.8	30.5	15.3	0.5
③子どもの教育費	②小学生児童調査 (N=3,202)	6.7	15.8	18.0	33.5	25.6	0.5
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	4.5	8.3	14.3	31.3	41.5	0.3
④子どもの遊び	②小学生児童調査 (N=3,202)	16.7	36.5	21.2	21.3	3.4	0.8
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	19.8	32.8	22.5	20.0	4.8	0.3
⑤子どもを遊ばせることができる場所	②小学生児童調査 (N=3,202)	10.0	22.5	20.1	31.8	15.1	0.6
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	13.5	19.3	19.8	29.8	17.5	0.3
⑥子どもの友達付き合い	②小学生児童調査 (N=3,202)	14.6	33.3	19.7	25.6	6.2	0.7
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	18.8	30.8	18.0	25.8	6.5	0.3
⑦子どもを預けられる施設や条件	②小学生児童調査 (N=3,202)	18.1	26.2	34.6	14.1	6.2	0.8
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	19.5	24.3	35.3	13.5	6.8	0.8
⑧子どもの食事や栄養	②小学生児童調査 (N=3,202)	24.6	39.6	16.2	16.7	2.4	0.5
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	20.0	36.5	18.5	19.3	5.5	0.3
⑨子どもの病気や発育	②小学生児童調査 (N=3,202)	25.5	36.5	17.2	16.1	4.3	0.5
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	20.0	35.8	18.3	20.0	5.8	0.3
⑩子どもの医療費	②小学生児童調査 (N=3,202)	22.0	30.9	23.0	16.1	7.5	0.5
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	24.8	26.3	20.5	18.8	9.5	0.3
⑪子どもの将来	②小学生児童調査 (N=3,202)	9.3	22.6	26.5	28.7	12.3	0.6
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	11.8	17.8	19.3	30.0	21.0	0.3

【平成30年調査】 単位: %		不安ではない	あまり不安ではない	どちらともいえない	少し不安である	不安である	不明・無回答
⑫子どもと接する時間	②小学生児童調査 (N=3,202)	20.9	35.7	21.3	17.8	3.7	0.7
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	19.3	27.0	23.8	23.0	6.5	0.5
⑬家族の中での子育て観	②小学生児童調査 (N=3,202)	20.9	36.5	25.7	13.5	2.8	0.7
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	21.0	29.3	29.3	16.5	3.3	0.8
⑭配偶者の子育てへの協力	②小学生児童調査 (N=3,202)	25.3	29.0	20.4	12.4	8.1	4.9
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	18.8	17.5	26.3	7.5	9.8	20.3
⑮子育てに対する自信	②小学生児童調査 (N=3,202)	9.2	24.5	35.5	22.0	8.1	0.7
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	11.5	21.3	29.5	24.8	12.0	1.0
⑯育児書どおりにならない	②小学生児童調査 (N=3,202)	38.2	24.9	27.3	5.4	3.0	1.2
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	38.5	19.8	30.0	5.3	4.5	2.0
⑰子育てと自分の生きがいや仕事との関係	②小学生児童調査 (N=3,202)	16.8	29.6	27.4	18.2	7.4	0.7
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	17.0	26.5	26.5	19.8	9.3	1.0
⑱自分の話し相手や相談相手	②小学生児童調査 (N=3,202)	29.8	35.8	19.5	10.1	4.2	0.6
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	32.0	30.3	17.5	12.0	7.8	0.5
⑲自分の時間、心のゆとり	②小学生児童調査 (N=3,202)	13.2	28.1	25.6	21.6	11.0	0.5
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	14.8	24.0	20.8	24.0	16.3	0.3
⑳自分の健康	②小学生児童調査 (N=3,202)	12.5	22.0	25.3	27.9	11.7	0.6
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	12.5	16.8	21.5	30.5	18.0	0.8
㉑その他	②小学生児童調査 (N=3,202)	2.8	0.9	3.6	0.6	1.6	90.6
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	3.0	0.5	4.0	0.8	4.5	87.3

(6) 生活で重要だと考えていること

ア 生活で最も重要だと考えていること（価値観）（SA）

・全体では、①小学校入学前児童調査、⑤母子保健調査、⑥—2 青少年・若者調査〔中高生以外〕において「家族と過ごす時間」、②小学生児童調査、③家族・家庭生活調査、④ひとり親家庭調査において「自分や家族の健康」、⑥—1 青少年・若者調査〔中高生〕において「働くことや学校での勉強」の割合が最も高くなっています。

・「貧困線以下の所得の世帯」では、④ひとり親家庭調査を除いたすべての調査において、「家族と過ごす時間」の割合が全体よりも低くなっており、すべての調査において「経済的な豊かさ」の割合が全体よりも高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	仕事や就労	経済的な豊かさ	子育てや子どもへの教育	家族と過ごす時間	友人など家族以外の人との交流	自分のために使う時間 (趣味や自己研さんのための時間等)
①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	2.2	11.3	16.2	32.3	0.8	0.8
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	2.8	18.6	12.6	27.1	0.6	2.2
【平成30年調査】 単位：％	自分や家族の健康	地域や社会に貢献する活動	その他	特にない	不明・無回答	
①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	31.4	0.4	1.4	0.6	2.4	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	30.3	1.6	1.3	0.6	2.2	
【平成30年調査】 単位：％	仕事や就労	経済的な豊かさ	子育てや子どもへの教育	家族と過ごす時間	友人など家族以外の人との交流	自分のために使う時間 (趣味や自己研さんのための時間等)
②小学生児童調査 (N=3,202)	2.9	13.0	17.0	24.2	0.9	0.8
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	3.0	23.8	13.3	22.8	1.5	1.0
【平成30年調査】 単位：％	自分や家族の健康	地域や社会に貢献する活動	その他	特にない	不明・無回答	
②小学生児童調査 (N=3,202)	35.0	0.1	1.5	0.5	4.0	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	26.8	0.0	1.3	1.5	5.3	

【平成30年調査】 単位：％	仕事や就労	経済的な豊 かさ	子育てや子 どもへの教 育	家族と過ご す時間	友人など家 族以外の人 との交流	自分のため に使う時間 (趣味や自 己研さんの ための時間 等)
③家族・家庭生活調査(N=1,866)	3.7	17.5	7.3	23.7	1.1	7.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=209)	1.9	24.9	8.1	15.8	1.9	8.1

【平成30年調査】 単位：％	自分や家族 の健康	地域や社会 に貢献する 活動	その他	特にない	不明・ 無回答
③家族・家庭生活調査(N=1,866)	33.0	0.6	2.6	1.0	1.9
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=209)	29.2	1.4	2.9	1.0	4.8

【平成30年調査】 単位：％	仕事や就労	経済的な豊 かさ	子育てや子 どもへの教 育	家族と過ご す時間	友人など家 族以外の人 との交流	自分のため に使う時間 (趣味や自 己研さんの ための時間 等)
④ひとり親家庭調査(N=1,272)	9.7	23.1	13.5	22.0	0.6	0.2
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=263)	7.2	27.0	13.3	26.6	0.0	0.0

【平成30年調査】 単位：％	自分や家族 の健康	地域や社会 に貢献する 活動	その他	特にない	不明・ 無回答
④ひとり親家庭調査(N=1,272)	24.3	0.2	1.1	1.2	4.2
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=263)	22.1	0.0	1.5	0.8	1.5

【平成30年調査】 単位：％	仕事や就労	経済的な豊 かさ	子育てや子 どもへの教 育	家族と過ご す時間	友人など家 族以外の人 との交流	自分のため に使う時間 (趣味や自 己研さんの ための時間 等)
⑤母子保健調査(N=1,327)	1.4	10.9	8.0	40.7	0.8	1.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=161)	1.2	14.3	11.2	32.9	1.9	0.6

【平成30年調査】 単位：％	自分や家族 の健康	地域や社会 に貢献する 活動	その他	特にない	不明・ 無回答
⑤母子保健調査(N=1,327)	28.4	0.1	1.0	0.3	7.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=161)	25.5	0.0	0.0	0.0	12.4

【平成30年調査】 単位：％	働くことや 学校での勉強	お金を貯めること、使うこと	子育てや子どもへの教育	家族と過ごす時間	友人など家族以外の人との交流	自分のために使う時間 (趣味や自分をみがぐための時間等)
⑥-1青少年・若者調査[中高生] (N=638)	24.8	12.2	0.9	17.1	8.6	15.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	18.4	21.8	0.0	19.5	6.9	18.4
【平成30年調査】 単位：％	自分や家族の健康	地域や社会に尽くす活動(ボランティアなど)	その他	特にない	不明・無回答	
⑥-1青少年・若者調査[中高生] (N=638)	10.0	0.5	2.5	5.2	3.1	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	6.9	0.0	4.6	2.3	1.1	
【平成30年調査】 単位：％	働くことや学校での勉強	お金を貯めること、使うこと	子育てや子どもへの教育	家族と過ごす時間	友人など家族以外の人との交流	自分のために使う時間 (趣味や自分をみがぐための時間等)
⑥-2青少年・若者調査[中高生以外] (N=755)	11.3	15.0	2.5	26.5	6.8	18.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=113)	9.7	22.1	2.7	14.2	6.2	24.8
【平成30年調査】 単位：％	自分や家族の健康	地域や社会に尽くす活動(ボランティアなど)	その他	特にない	不明・無回答	
⑥-2青少年・若者調査[中高生以外] (N=755)	12.6	0.3	2.9	2.0	1.7	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=113)	8.0	0.9	4.4	1.8	5.3	

5 結婚・出産に対する考え

(1) 結婚に対する考え

ア 婚姻状況 (SA)

- ・全体では、「結婚している」の割合が最も高くなっています。
- ・「貧困線以下の所得の世帯」では、「結婚していない」の割合が全体よりも高くなっています。

【平成30年調査】 単位: %	結婚している	結婚していた ことはあるが、 離(死)別した	結婚していな い	不明・無回答
③家族・家庭生活調査(N=1,866)	59.8	4.6	35.2	0.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=209)	36.4	12.0	51.2	0.5

イ 結婚願望 (SA)

- ・全体では、「いずれはしたい」の割合が最も高くなっており、これらは、「貧困線以下の所得の世帯」でもおおむね同様の傾向となっています。
- ・「貧困線以下の所得の世帯」では、「結婚したくない」の割合が全体よりも高くなっています。

【平成30年調査】 単位: %	すぐにでもしたい	いずれはしたい	結婚したくない	不明・無回答
③家族・家庭生活調査(N=743)	12.8	53.0	21.1	13.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=132)	7.6	45.5	32.6	14.4

(2) 出産に対する考え

ア 現在の子どもの数 (SA)

- ・全体では、「子どもはいない」の割合が最も高くなっており、これらは、「貧困線以下の所得の世帯」でもおおむね同様の傾向となっています。
- ・「貧困線以下の所得の世帯」では、「子どもはいない」の割合が全体よりも高くなっています。

【平成30年調査】 単位: %	1人	2人	3人	4人以上	子どもはいない	不明・無回答
③家族・家庭生活調査(N=1,866)	18.5	26.7	8.8	1.4	42.7	1.9
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=209)	12.0	21.1	6.2	1.9	55.0	3.8

イ 予定の子どもの数（SA）

- ・全体では、「2人」の割合が最も高くなっています。
- ・「貧困線以下の所得の世帯」では、「子どもはいらない（予定はない）」の割合が最も高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	1人	2人	3人	4人以上	子どもはいらない (予定はない)	不明・無回答
③家族・家庭生活調査(N=1,866)	14.3	41.6	13.7	1.6	23.7	5.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=209)	10.0	32.1	11.0	2.4	38.3	6.2

ウ 理想の子どもの数（SA）

- ・全体では、「2人」の割合が最も高くなっており、これらは、「貧困線以下の所得の世帯」でもおおむね同様の傾向となっています。
- ・「貧困線以下の所得の世帯」では、「ほしくない」の割合が全体よりも高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	1人	2人	3人	4人以上
③家族・家庭生活調査(N=1,866)	6.1	48.2	29.8	2.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=209)	7.2	45.0	22.5	2.4

【平成30年調査】 単位：％	多ければ多い 方がいい	ほしくない	不明・無回答
③家族・家庭生活調査(N=1,866)	3.4	7.0	3.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=209)	3.3	15.3	4.3

エ 子どもを持たない理由（MA）

- ・全体では、「結婚するつもりはないから」の割合が最も高くなっており、これらは、「貧困線以下の所得の世帯」でもおおむね同様の傾向となっています。
- ・「貧困線以下の所得の世帯」では、「出産・育児・教育にお金がかかるから」の割合が全体よりも高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	結婚するつもり がないから	仕事や趣味を 優先したいから	妊娠・出産が大 変だから	育児が大変だ から	育児と仕事の 両立が困難だ から	子どもが好きで はないから
③家族・家庭生活調査(N=448)	30.4	13.4	7.8	8.9	11.2	9.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=81)	37.0	14.8	12.3	7.4	12.3	8.6

【平成30年調査】 単位：％	健康上の理由 で妊娠・出産が 困難だから	出産・育児・教 育にお金がか かるから	夫婦の生活を 大切にしたいか ら	パートナーが子 どもをほしがら ないから	その他	不明・無回答
③家族・家庭生活調査(N=448)	13.6	17.9	4.9	2.5	25.7	12.9
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=81)	14.8	29.6	7.4	1.2	19.8	12.3

6 青少年の意識や家庭の状況

(1) 悩みや心配ごと、家庭の状況

ア こころの健康状態 (SA)

「貧困線以下の所得の世帯」では、両調査ともに、「不健康」（「やや不健康」＋「不健康」）の割合が全体よりも高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	とても健康	健康	やや不健康	不健康	わからない	不明・無回答
⑥-1青少年・若者調査[中高生] (N=638)	32.1	40.4	14.1	5.3	5.6	2.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	23.0	43.7	10.3	14.9	3.4	4.6

【平成30年調査】 単位：％	とても健康	健康	やや不健康	不健康	わからない	不明・無回答
⑥-2青少年・若者調査[中高生以外] (N=755)	13.9	46.4	20.8	9.8	5.8	3.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=113)	10.6	39.8	26.5	12.4	6.2	4.4

イ 現在の悩みや心配ごと (MA)

「貧困線以下の所得の世帯」では、⑥-1 青少年・若者調査[中高生]において「お金のこと」の割合が、⑥-2 青少年・若者調査[中高生以外]において「将来（進路を含む）のこと」、「無気力、やる気が出ないこと」の割合が全体よりも高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	勉強のこと	学校生活のこと	仕事や職場のこと	将来(進路を含む)のこと	家族のこと	友人のこと	好きな人のこと	健康のこと
⑥-1青少年・若者調査[中高生] (N=638)	62.1	19.6	3.0	70.1	10.0	13.2	8.9	8.8
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	55.2	16.1	2.3	67.8	9.2	10.3	4.6	11.5

【平成30年調査】 単位：％	性格のこと	見た目や体格のこと	お金のこと	無気力、やる気が出ないこと	悩みや心配ごとはない	その他	不明・無回答
⑥-1青少年・若者調査[中高生] (N=638)	15.7	24.8	28.8	21.3	6.3	1.9	3.6
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	17.2	26.4	43.7	23.0	5.7	5.7	2.3

【平成30年調査】 単位：％	勉強のこと	学校生活のこと	仕事や職場のこと	将来(進路を含む)のこと	家族のこと	友人のこと	好きな人のこと	健康のこと
⑥-2青少年・若者調査[中高生以外] (N=755)	11.9	4.6	49.0	58.8	26.6	6.5	13.1	27.2
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=113)	17.7	8.8	40.7	63.7	21.2	8.0	12.4	23.9

【平成30年調査】 単位：％	性格のこと	見た目や体格のこと	お金のこと	無気力、やる気が出ないこと	悩みや心配ごとはない	その他	不明・無回答
⑥-2青少年・若者調査[中高生以外] (N=755)	16.4	22.6	60.4	20.1	5.0	2.9	2.6
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=113)	15.0	21.2	62.8	25.7	2.7	6.2	1.8

ウ 保護者の婚姻状況（SA）

「貧困線以下の所得の世帯」では、全体よりも「結婚している（同居）（事実婚を含む）」の割合が低く、「結婚していない（離婚、または離婚に等しい状況で別居）」の割合が高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	結婚している (同居)(事 実婚を含む)	結婚してい る(単身赴任 等で別居)	結婚してい ない(離婚、 または離婚 に等しい状 況で別居)	結婚してい ない(死別し た)	結婚してい ない(結婚し たことがな い)	その他	不明・ 無回答
⑥-3青少年・若者調査[保護者] (N=638)	72.1	7.7	12.7	1.3	4.2	0.8	1.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	34.5	2.3	46.0	6.9	3.4	3.4	3.4

（２）将来の考え

ア 将来の自分のライフデザインの有無（SA）

「貧困線以下の所得の世帯」では、⑥-1 青少年・若者調査[中高生]において「考えている」（「考えている」＋「少し考えている」）の割合が高くなっている一方で、⑥-2 青少年・若者調査[中高生以外]において「考えていない」（「あまり考えていない」＋「まったく考えていない」）の割合が高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	考えている	少し考えてい る	あまり考えて いない	まったく考え ていない	不明・無回答
⑥-1 青少年・若者調査[中高生] (N=638)	13.9	23.8	28.7	31.5	2.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	14.9	27.6	27.6	29.9	0.0

【平成30年調査】 単位：％	考えている	少し考えてい る	あまり考えて いない	まったく考え ていない	不明・無回答
⑥-2 青少年・若者調査[中高生以 外](N=755)	35.9	31.9	17.4	13.0	1.9
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=113)	23.9	21.2	25.7	26.5	2.7

イ 将来の結婚や子育てについての考え（SA）

「貧困線以下の所得の世帯」では、両調査ともに、「結婚も子育てもしたい」の割合が全体よりも低くなっており、⑥－2 青少年・若者調査〔中高生以外〕において「わからない」の割合が高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	結婚も子育てもしたい	結婚はしたいが子育てはしたくない	子育てはしたいが結婚はしたくない	結婚も子育てもしたくない	わからない	その他	不明・無回答
⑥－1 青少年・若者調査〔中高生〕 (N=638)	52.4	4.2	2.2	5.5	33.1	0.6	2.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=87)	48.3	5.7	5.7	6.9	33.3	0.0	0.0
【平成30年調査】 単位：％	結婚も子育てもしたい	結婚はしたいが子育てはしたくない	子育てはしたいが結婚はしたくない	結婚も子育てもしたくない	わからない	その他	不明・無回答
⑥－2 青少年・若者調査〔中高生以外〕 (N=755)	66.9	7.4	2.1	5.3	15.8	1.2	1.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=113)	46.0	8.8	3.5	9.7	27.4	1.8	2.7

7 子育て支援策

(1) 情報の入手方法

ア 子育てに関する情報の入手方法 (MA)

行政

全体では、両調査ともに、「宛名のお子さまやその兄弟姉妹が通っている学校・幼稚園・保育施設等」の割合が最も高くなっており、これらは「貧困線以下の所得の世帯」でもおおむね同様の傾向となっています。

【平成30年調査】 単位：％	市民しんぶん	京都市のホームページ(京都市情報館や各区・支所子ども支援センターのHP)	京都市公式ソーシャルメディア(twitter, YouTube, Facebook, アプリ)	京都市子育てアプリ「京都市はぐくみアプリ」	京都市が発行する子育て応援パンフレット	保健福祉センター子どもはぐくみ室の発行物等	児童福祉センター(児童相談所・発達相談所)
①小学校入学前児童調査(N=2,783)	46.0	18.8	3.0	7.8	7.4	5.9	1.6
うち 貧困線以下の所得の世帯(N=264)	45.1	16.3	2.7	6.1	5.3	7.2	1.5
【平成30年調査】 単位：％	こどもみらい館の発行物等	子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)	児童館の発行物等	宛名のお子さまやその兄弟姉妹が通っている学校・幼稚園・保育園・保育施設等	11以外の学校・幼稚園・保育施設等	その他	不明・無回答
①小学校入学前児童調査(N=2,783)	3.8	2.4	11.7	54.1	3.1	2.2	3.6
うち 貧困線以下の所得の世帯(N=264)	3.0	2.3	7.2	53.0	3.0	3.4	6.8
【平成30年調査】 単位：％	市民しんぶん	京都市のホームページ(京都市情報館や各区・支所子ども支援センターのHP)	京都市公式ソーシャルメディア(twitter, YouTube, Facebook, アプリ)	京都市子育てアプリ「京都市はぐくみアプリ」	京都市が発行する子育て応援パンフレット	保健福祉センター子どもはぐくみ室の発行物等	児童福祉センター(児童相談所・発達相談所)
②小学生児童調査(N=3,202)	42.1	10.6	0.9	1.2	4.2	1.1	1.7
うち 貧困線以下の所得の世帯(N=400)	45.0	8.8	1.0	1.3	3.5	2.0	2.8
【平成30年調査】 単位：％	こどもみらい館の発行物等	子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)	児童館の発行物等	宛名のお子さまやその兄弟姉妹が通っている学校・幼稚園・保育園・保育施設等	11以外の学校・幼稚園・保育施設等	その他	不明・無回答
②小学生児童調査(N=3,202)	0.6	0.2	12.4	71.7	4.0	2.3	5.3
うち 貧困線以下の所得の世帯(N=400)	1.3	0.0	10.8	64.5	5.3	2.0	8.3

民間

全体では、①小学校入学前調査において、「幼稚園・保育施設等や学校の保護者仲間」の割合が、②小学校入学前児童調査において、「友人や近隣の住民」の割合が最も高くなっており、これらは「貧困線以下の所得の世帯」でもおおむね同様の傾向となっています。

【平成30年調査】 単位：％	民生委員・ 児童委員、 主任児童委員	電話相談機 関	医療機関	配偶者・ パートナー	祖父母等の 親族	友人や近隣 の住民	職場の同僚
①小学校入学前児童調査 (N=2,783)	8.3	0.9	8.7	14.2	12.1	33.6	7.2
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=264)	6.8	0.8	12.1	9.8	14.0	31.8	7.6
【平成30年調査】 単位：％	子育てサー クル等の仲 間	幼稚園・保 育施設等や 学校の保護 者仲間	テレビ、ラジ オ、新聞、雑 誌等	インターネッ トの子育て 情報サイト	その他	不明・ 無回答	
①小学校入学前児童調査 (N=2,783)	4.1	37.6	11.0	35.4	1.5	5.4	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=264)	1.5	38.6	10.2	34.5	1.9	6.8	
【平成30年調査】 単位：％	民生委員・ 児童委員、 主任児童委員	電話相談機 関	医療機関	配偶者・ パートナー	祖父母等の 親族	友人や近隣 の住民	職場の同僚
②小学生児童調査 (N=3,202)	0.5	0.3	5.0	16.5	13.4	45.2	12.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	1.0	0.8	4.8	10.3	17.5	40.8	12.8
【平成30年調査】 単位：％	子育てサー クル等の仲 間	幼稚園・保 育施設等や 学校の保護 者仲間	テレビ、ラジ オ、新聞、雑 誌等	インターネッ トの子育て 情報サイト	その他	不明・ 無回答	
②小学生児童調査 (N=3,202)	0.9	37.4	20.1	21.2	1.5	6.5	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	1.0	33.8	21.5	17.0	1.0	11.8	

(2) 地域との関わり

ア 自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じるか。(SA)

全体では、両調査ともに、「感じる」の割合が最も高くなっており、これらは「貧困線以下の所得の世帯」でもおおむね同様の傾向となっています。

【平成30年調査】 単位：％	とても感じる	感じる	あまり感じない	感じない	不明・ 無回答
①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	9.3	40.5	34.9	13.7	1.7
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	9.5	42.0	30.6	16.1	1.9
【平成30年調査】 単位：％	とても感じる	感じる	あまり感じない	感じない	不明・ 無回答
②小学生児童調査 (N=3,202)	13.6	49.8	25.4	7.5	3.7
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	13.8	46.3	26.3	9.5	4.3

イ 子育てをするうえで、近所・地域の人々に期待すること（MA）

・全体では、すべての調査において「子どもが事故や犯罪被害に巻き込まれないよう気を配り合うこと」の割合が最も高くなっています。

・「貧困線以下の所得の世帯」では、②小学生調査において、「子どもが事故や犯罪被害に巻き込まれないよう気を配り合うこと」の割合が低く、「声かけ」「あいさつをはじめ、身近なコミュニケーション」の割合が高くなっており、④ひとり親家庭調査では、子どもが事故や犯罪被害に巻き込まれないよう気を配り合うこと」の割合が高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	身近な問題についての親同士での相談や話し合い	地域が実施する子ども向けの活動（地蔵盆や通学路の見守り活動等）を通じて、地域の大人が子どもに関わり合うこと	子どもや保護者が集える場所づくり	「声かけ」「あいさつ」をはじめ、身近なコミュニケーション	急用や緊急時に、子どもを預け合えること	子どもの危険な行為やいたづらを注意し合えること
①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	20.1	40.1	19.8	69.4	19.8	50.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	21.5	36.3	18.9	65.9	20.5	54.9

【平成30年調査】 単位：％	子どもが事故や犯罪被害に巻き込まれないよう気を配り合うこと	子どもの言動に対する寛容なまなざし	その他	期待することは特になし	不明・無回答
①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	70.8	38.4	1.0	3.9	1.7
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	69.7	41.6	1.3	6.3	1.6

【平成30年調査】 単位：％	身近な問題についての親同士での相談や話し合い	地域が実施する子ども向けの活動（地蔵盆や通学路の見守り活動等）を通じて、地域の大人が子どもに関わり合うこと	子どもや保護者が集える場所づくり	「声かけ」「あいさつ」をはじめ、身近なコミュニケーション	急用や緊急時に、子どもを預け合えること	子どもの危険な行為やいたづらを注意し合えること
②小学生児童調査 (N=3,202)	22.9	43.5	14.4	68.7	20.0	57.2
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	21.8	43.0	15.8	72.3	19.8	56.8

【平成30年調査】 単位：％	子どもが事故や犯罪被害に巻き込まれないよう気を配り合うこと	子どもの言動に対する寛容なまなざし	その他	期待することは特になし	不明・無回答
②小学生児童調査 (N=3,202)	72.3	28.2	1.2	3.0	3.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	67.3	29.5	1.3	4.3	4.0

【平成30年調査】 単位：％	身近な問題についての親同士での相談や話し合い	地域が実施する子ども向けの活動（地蔵盆や通学路の見守り活動等）を通じて、地域の大人が子どもに関わり合うこと	子どもや保護者が集える場所づくり	「声かけ」「あいさつ」をはじめ、身近なコミュニケーション	急用や緊急時に、子どもを預け合えること	子どもの危険な行為やいたづらを注意し合えること
④ひとり親家庭調査(N=1,272)	13.3	26.4	11.4	53.1	24.1	49.6
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=263)	10.3	28.5	12.2	55.5	24.0	53.6

【平成30年調査】 単位：％	子どもが事故や犯罪被害に巻き込まれないよう気を配り合うこと	子どもの言動に対する寛容なまなざし	その他	期待することは特になし	不明・無回答
④ひとり親家庭調査(N=1,272)	61.5	22.0	1.6	12.7	7.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=263)	67.7	28.5	1.1	12.2	3.0

(3) 京都市における子育て支援

ア 今後、京都市・京都府・国に最も期待すること（SA）

・全体では、両調査ともに「子育て世帯に対する経済的支援の充実」の割合が最も高くなっています。

・「貧困線以下の所得の世帯」では、「子育て世帯に対する経済的支援の充実」の割合が全体よりも高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	妊娠・出産の支援の充実	子どもの健康や医療に関する取組の充実	保育施設の整備や学童クラブ等の子育て支援の取組の充実	教育環境の整備	子育て世帯に対する経済的支援の充実	仕事と子育ての両立支援と働き方の見直しの促進
①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	3.2	13.3	11.7	5.8	32.1	11.5
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	5.4	9.5	7.3	4.7	40.1	10.1
【平成30年調査】 単位：％	子育てに関する相談体制の整備	交通事故・犯罪の予防・防止等、子どもの安全対策の充実	その他	特にない	不明・無回答	
①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	0.7	8.6	3.3	0.7	9.1	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	0.3	6.9	3.8	1.3	10.7	
【平成30年調査】 単位：％	妊娠・出産の支援の充実	子どもの健康や医療に関する取組の充実	保育施設の整備や学童クラブ等の子育て支援の取組の充実	教育環境の整備	子育て世帯に対する経済的支援の充実	仕事と子育ての両立支援と働き方の見直しの促進
②小学生児童調査 (N=3,202)	2.5	19.4	6.4	11.4	29.2	8.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	3.5	10.0	6.5	9.8	38.5	9.5
【平成30年調査】 単位：％	子育てに関する相談体制の整備	交通事故・犯罪の予防・防止等、子どもの安全対策の充実	その他	特にない	不明・無回答	
②小学生児童調査 (N=3,202)	0.6	11.3	3.8	1.0	6.2	
うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	1.0	8.8	2.5	2.0	8.0	

イ 子どもにとって充実するとよい支援（MA）

- ・全体では、「生活や就学のための経済的補助」の割合が最も高くなっています。
- ・「貧困線以下の所得の世帯」では、「生活や就学のための経済的補助」、「低い家賃で住める住居の確保」の割合が全体よりも高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％	保護者が家にいない時に子どもを預かる場やサービスの提供	低い家賃で住める住居の確保	生活や就学のための経済的補助	進路や生活などについて何でも相談できるところ	仲間と出会え、一緒に活動できるところ	自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供	地域における子どもの居場所の提供	読み書き計算などの基礎的な学習への支援
⑥-3青少年・若者調査〔保護者〕(N=638)	1.7	9.4	47.5	27.1	26.6	6.7	4.2	4.7
うち 貧困線以下の所得の世帯(N=87)	1.1	25.3	57.5	20.7	16.1	3.4	5.7	4.6

【平成30年調査】 単位：％	会社などでの職場体験等の機会	仕事に就けるようにするための就労に関する支援	望ましい食生活を育むための環境整備	その他	特にない	わからない	不明・無回答
⑥-3青少年・若者調査〔保護者〕(N=638)	29.6	22.3	6.4	4.1	8.0	2.4	3.1
うち 貧困線以下の所得の世帯(N=87)	23.0	24.1	5.7	4.6	3.4	6.9	3.4

【平成28年調査】 単位：％	保護者が家にいない時に子どもを預かる場やサービスの提供	低い家賃で住める住居の確保	生活や就学のための経済的補助	進路や生活などについて何でも相談できるところ	仲間と出会え、一緒に活動できるところ	自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供	地域における子どもの居場所の提供	読み書き計算などの基礎的な学習への支援
中高生等調査(N=2,642)	4.7	10.7	46.2	18.0	16.7	10.3	5.6	4.7
うち 貧困線以下の所得の世帯(N=411)	4.9	28.7	66.9	18.7	12.2	4.9	4.4	8.8

【平成28年調査】 単位：％	会社などでの職場体験等の機会	仕事に就けるようにするための就労に関する支援	望ましい食生活を育むための環境整備	その他	特にない	わからない	不明・無回答
中高生等調査(N=2,642)	21.3	19.7	3.9	4.6	14.0	2.8	3.2
うち 貧困線以下の所得の世帯(N=411)	16.8	22.6	5.1	4.6	6.1	2.9	1.0

ウ 現在の京都市についての実感（SA）

小学校入学前児童

・全体では、そう思う（「そう思う」＋「少しそう思う」）は、「身近に小児医療が受けられる環境が整っている」の割合が最も高く、これらは「貧困線以下の所得の世帯」でもおおむね同様の傾向となっています。

・また、全体では、「そう思わない（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）」は、「保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）の時に、必要な支援を受けられる環境である」の割合が最も高く、これらは「貧困線以下の所得の世帯」でもおおむね同様の傾向となっています。

【平成30年調査】 単位：％		そう思う	少しそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	不明・無回答
①安心して出産できる環境である	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	32.6	34.2	23.4	6.1	2.8	1.1
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	31.2	32.2	26.2	5.0	3.8	1.6
②乳幼児健診でのアドバイスやアフターフォローが充実している	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	17.3	33.3	30.9	12.8	4.5	1.1
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	18.0	32.8	32.8	11.0	3.8	1.6
③身近に小児医療が受けられる環境が整っている	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	35.0	39.4	15.1	6.6	2.9	0.9
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	35.3	31.2	19.9	7.6	4.4	1.6
④必要な時に保育施設等や学童クラブ等を利用できる環境である	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	14.1	25.2	33.4	18.6	7.5	1.2
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	17.4	27.1	28.7	18.3	6.9	1.6
⑤保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気等)の時に、必要な支援を受けられる環境である	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	3.7	8.9	41.8	28.5	15.9	1.2
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	5.4	10.4	43.5	22.1	17.0	1.6
⑥障害や、保護者の養護が足りないなど、配慮を要する子どもの状況に応じた支援が行われている	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	2.9	10.8	64.9	14.7	4.9	1.8
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	4.1	11.4	61.2	14.5	7.3	1.6
⑦子育てをしながら仕事と生活は両立できる環境である	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	5.1	19.6	37.3	25.6	11.4	0.9
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	8.5	18.0	34.7	24.6	12.6	1.6
⑧子育てに不安を感じた時気軽に相談できるところがある	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	8.4	27.4	39.0	17.8	6.2	1.2
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	12.9	23.0	38.5	16.1	7.9	1.6
⑨子どもの教育環境が充実している	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	7.6	28.8	43.3	14.4	4.8	1.0
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	9.5	26.2	41.0	17.4	4.4	1.6
⑩青少年が健全に育つ環境である	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	5.5	24.0	52.0	13.5	3.9	1.1
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	7.3	23.7	48.9	14.8	3.5	1.9
⑪身近に、自宅以外の子どもの居場所や遊び場がある	①小学校入学前児童調査 (N=3,191)	11.7	31.3	25.0	20.8	10.2	0.9
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=317)	13.9	27.8	24.3	19.6	12.9	1.6

小学生児童

・全体では、そう思う（「そう思う」＋「少しそう思う」）は、「身近に小児医療が受けられる環境が整っている」の割合が最も高く、これらは「貧困線以下の所得の世帯」でもおおむね同様の傾向となっています。

・また、全体では、「そう思わない（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）」は、「身近に、自宅以外の子どもの居場所や遊び場がある」の割合が最も高く、これらは「貧困線以下の所得の世帯」でもおおむね同様の傾向となっています。

【平成30年調査】 単位：％		そう思う	少しそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	不明・無回答
①安心して出産できる環境である	②小学生児童調査 (N=3,202)	26.0	32.1	29.2	7.0	2.3	3.4
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	25.8	27.3	31.3	7.0	4.8	4.0
②乳幼児健診でのアドバイスやアフターフォローが充実している	②小学生児童調査 (N=3,202)	14.2	32.4	35.5	11.1	3.3	3.5
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	14.8	27.5	38.0	10.5	4.8	4.5
③身近に小児医療が受けられる環境が整っている	②小学生児童調査 (N=3,202)	30.5	38.8	17.3	7.6	2.7	3.1
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	25.3	39.5	19.3	8.0	3.8	4.3
④必要な時に保育施設等や学童クラブ等を利用できる環境である	②小学生児童調査 (N=3,202)	15.0	27.7	32.4	15.7	6.0	3.2
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	16.3	30.8	29.5	12.3	7.0	4.3
⑤保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気等)の時に、必要な支援を受けられる環境である	②小学生児童調査 (N=3,202)	3.2	9.3	47.8	24.8	11.4	3.4
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	4.5	8.8	48.5	22.0	11.3	5.0
⑥障害や、保護者の養護が足りないなど、配慮を要する子どもの状況に応じた支援が行われている	②小学生児童調査 (N=3,202)	3.9	14.2	58.0	13.6	6.5	3.8
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	5.0	15.0	51.0	14.8	9.8	4.5
⑦子育てをしながら仕事と生活は両立できる環境である	②小学生児童調査 (N=3,202)	4.0	19.9	41.3	22.6	8.6	3.5
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	5.8	18.8	38.3	20.5	12.0	4.8
⑧子育てに不安を感じた時気軽に相談できるところがある	②小学生児童調査 (N=3,202)	6.2	20.8	43.2	19.6	6.5	3.6
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	8.8	19.8	40.5	17.8	8.8	4.5
⑨子どもの教育環境が充実している	②小学生児童調査 (N=3,202)	7.2	29.0	37.3	16.8	6.1	3.6
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	7.0	24.8	39.3	16.3	8.3	4.5
⑩青少年が健全に育つ環境である	②小学生児童調査 (N=3,202)	5.1	28.1	45.6	13.5	4.4	3.4
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	7.0	23.3	44.5	13.3	7.3	4.8
⑪身近に、自宅以外の子どもの居場所や遊び場がある	②小学生児童調査 (N=3,202)	9.3	26.2	23.7	23.2	14.1	3.5
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	10.0	22.0	25.3	22.8	15.5	4.5

ひとり親家庭調査

・全体では、そう思う（「そう思う」＋「少しそう思う」）は、「身近に小児医療が受けられる環境が整っている」の割合が最も高く、これらは「貧困線以下の所得の世帯」でもおおむね同様の傾向となっています。

・また、全体では、「そう思わない（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）」は、「子育てをしながら仕事と生活は両立できる環境である」の割合が、「貧困線以下の所得の世帯」では、「子育てに不安を感じた時気軽に相談できるところがある」の割合が最も高くなっています。

【平成30年調査】 単位：％		そう思う	少しそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	不明・無回答
②乳幼児健診でのアドバイスやアフターフォローが充実している	②小学生児童調査 (N=3,202)	7.5	17.8	41.4	10.1	6.1	17.1
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	8.7	20.2	45.2	11.4	5.3	9.1
③身近に小児医療が受けられる環境が整っている	②小学生児童調査 (N=3,202)	20.4	25.1	25.2	10.5	4.4	14.4
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	21.7	28.9	25.1	13.3	3.4	7.6
④必要な時に保育施設等や学童クラブ等を利用できる環境である	②小学生児童調査 (N=3,202)	17.2	21.8	29.4	10.0	6.7	14.9
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	20.2	22.4	31.9	11.0	7.2	7.2
⑤保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気等)の時に、必要な支援を受けられる環境である	②小学生児童調査 (N=3,202)	3.1	6.2	37.6	19.4	18.2	15.6
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	2.3	7.6	44.1	19.4	19.0	7.6
⑥障害や、保護者の養護が足りないなど、配慮を要する子どもの状況に応じた支援が行われている	②小学生児童調査 (N=3,202)	3.0	10.0	46.4	12.5	10.2	17.9
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	1.9	12.2	52.1	12.5	11.4	9.9
⑦子育てをしながら仕事と生活は両立できる環境である	②小学生児童調査 (N=3,202)	6.3	14.3	26.3	22.4	17.2	13.5
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	3.8	16.7	31.2	19.4	20.9	8.0
⑧子育てに不安を感じた時気軽に相談できるところがある	②小学生児童調査 (N=3,202)	5.0	12.6	29.6	21.9	16.4	14.4
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	4.6	16.0	24.3	27.0	19.4	8.7
⑨子どもの教育環境が充実している	②小学生児童調査 (N=3,202)	6.1	17.1	32.6	18.0	12.6	13.7
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	6.1	17.1	32.3	20.2	15.6	8.7
⑩青少年が健全に育つ環境である	②小学生児童調査 (N=3,202)	5.0	18.6	39.6	13.4	9.0	14.3
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	4.2	17.5	46.0	12.5	11.4	8.4
⑪身近に、自宅以外の子どもの居場所や遊び場がある	②小学生児童調査 (N=3,202)	9.3	19.4	21.9	20.9	15.2	13.4
	うち 貧困線以下の所得の世帯 (N=400)	8.0	24.0	21.7	23.2	15.2	8.0